

Soft Tennis

[ソフトテニス]

11
NOVEMBER
2025
No.858



第9回

アジアソフトテニス選手権大会 男女監督総評&トーナメントレコード(全7種目)

- 第29回 全日本シニアソフトテニス選手権大会
- 第79回 国民スポーツ大会 ソフトテニス競技
- 日本スポーツマスタース2025 愛媛大会
- 第5回 全日本レディースソフトテニス決勝大会 シニアの部
- 第37回 ねんりんピック2025

- 第3回 全日本U-21男子強化合宿 報告
- 第33回 日・韓・中ジュニア交流競技大会
- 全日本U-17男女強化合宿 報告
(日・韓・中ジュニア交流競技大会直前合宿)
- 令和6年度 支部功労者・優良団体紹介

Soft **11** NOVEMBER 2025 No.858

[ソフトテニス]

Tennis

C O N T E N T S

【表紙写真】

10月上旬に滋賀県・長浜市で開催された「第79回 国民スポーツ大会 ソフトテニス競技」。写真は成年男子で優勝を飾った広島県、18年ぶりに優勝を果たした京都府、それぞれ初優勝を遂げた少年男子の愛知県と少年女子の宮城県

- 1 **第9回 アジアソフトテニス選手権大会
男女監督総評&トーナメントレコード(全7種目)**
- 15 **第29回 全日本シニアソフトテニス選手権大会**
- 18 **第3回 全日本U-21男子強化合宿 報告**
- 21 **第33回 日・韓・中ジュニア交流競技大会**
- 26 **全日本U-17男女強化合宿 報告
(日・韓・中ジュニア交流競技大会直前合宿)**
- 27 **第79回 国民スポーツ大会 ソフトテニス競技**
- 32 **日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会**
- 34 **第5回 全日本レディースソフトテニス決勝大会 シニアの部**
- 36 **第37回 ねんりんピック2025**
- 38 **令和6年度 支部功労者・優良団体紹介
Vol.14 鹿児島県**
- 40 **支部ニュース**
- 47 **次号予告**
- 48 **2025年度(令和7年度) 大会日程及び開催地一覧**

第9回 アジアソフトテニス選手権大会 男女監督総評

■開催期間と場所 9月16日～21日 韓国・聞慶市 ムンギョン国際テニスセンター

「第9回 アジアソフトテニス選手権大会」が終わって約1ヶ月半。7種目中6種目で金メダルを獲得した日本代表チームでしたが、現場で選手を指揮していた男女監督は選手達の戦いぶりを見て、どんなことを感じたのでしょうか。ここでは、篠原男子監督と佐藤女子監督の総評をお届けします。

男 子

文・篠原 秀典

大会の目的・目標

- ・チーム理念の達成 ～日本のすべてのソフトテニスファンへ夢と希望を～
- ・全種目金メダル獲得
- ・全種目同士討ち決勝

総括

結果として、シングルスは金メダル、ミックスダブルスは銀・銅メダル、ダブルスは金・銀メダルと、チームの目標にはいま一步届いていなかったものの、ダブルスでは同士討ち決勝を行い日本ペア同士で金メダルを争うなど、日本チームが個人戦での良い流れを掴み国別対抗を迎えられた。

国別対抗戦では、他国も奮起してきたものの戦略的にも対戦国を上回り、個人戦の流れをそのままに金メダルを獲得することができた。その結果はこれまでの国内大会での競争やナショナルチームメンバーとの切磋琢磨、チームでの取り組みの成果であり、代表選手団のみならず日本ソフトテニス界の勝利であったと考えられる。

試合で選手たちは見事にこれまでに取り組み強化してきたプレーを発揮した。そのような強化項目を検討してきたスタッフもさることながら、そのようなプレーをこれまでにないようなクオリティで実行した選手たちのパフォーマンスには言うことがない。

派遣メンバー

監 督	篠原秀典
コ ー チ	増田 健人、堀 晃大
ト レ ー ナ ー	兼平 智孝
マネージャー	川上 晃司
科学サポート	村山 孝之(心理)、 緒方 貴浩(ゲーム分析)
選 手	上岡 俊介、丸山 海斗、 上松 俊貴、内本 隆文、 内田 理久、広岡 宙

他国の状況として、特にライバル国である韓国・中華台北は、昨年の結果も受け、対日本を強く意識してくることが予想された。我々もそれを想定して臨んだ今大会であったが、大きな脅威となりうるほどの十分な戦術・戦略が準備されていたかという点、そのような状況はさほど感じられなかった。

ただ、スカウティングやチーム戦略(オーダーやペアリング)の部分に関しては強化してきている様子も伺えたため、来年に向けてさらに準備を充実させていく必要がある。

その他の国々においては、東南アジアを中心にクレイコートにおいても高いパフォーマンスを発揮していた。特にインドチームは2年連続で国別対抗戦、ミックスダブルスなどでメダルを獲得しており、継続した強化が行われていることが伺えた。身体能力

戦績

【男子シングルス】

▽準決勝

上松 俊貴 ④－０ KIM USIK
(日本) (韓国)

CHEN PO-YI ④－１ MEENA JAY
(中華台北) (インド)

▽決勝

上松 俊貴 ④－１ CHEN PO-YI

【男子ダブルス】

▽準決勝

内本 隆文 ⑤－２ LEE HYUNGWON
上松 俊貴 PARK JAEKYU
(日本) (韓国)

上岡 俊介 ⑤－２ SEO KUEON
丸山 海斗 KIM HYEONGJUN
(日本) (韓国)

▽決勝

内本 隆文 ⑤－０ 上岡 俊介
上松 俊貴 丸山 海斗

【ミックスダブルス】

▽準決勝

YU KAI-WEN ⑤－２ 上松 俊貴
HUANG SHIH-YUAN 前田 梨緒
(中華台北) (日本)

丸山 海斗 ⑤－０ MEENA JAY
天間 麗奈 TIWARI AADHYA
(日本) (インド)

▽決勝

YU KAI-WEN ⑤－２ 丸山 海斗
HUANG SHIH-YUAN 天間 麗奈

【国別対抗戦】

▽準決勝

日本 ②－０ 中華台北

韓国 ②－０ インド

▽決勝

日本 ②－０ 韓国

※全種目、ベスト4以上のみ掲載

が高く、試合での経験を積んでいくと、さらにハイパフォーマンスを発揮する可能性を大いに秘めており、今後新興国として脅威となる存在であった。

この２年間は地元開催であり、クレーコートという韓国チームがアドバンテージを持つ環境での戦いとなったが、昨年課題としていた環境要因（ホームアド

バンテージ）やエントリー数が多いという体力的な課題もクリアし、強化合宿や個人での取り組みの成果を発揮した。このアドバンテージの大きい２年間で良い形で終わられた経験は、来年のみならず、今後数年間の国際大会の戦いを考えた上でも大きな成果であったことと考えている。

また、我々強化チームの「日本ソフトテニス界に夢と誇りを」という活動理念に対して、勝利のみならず、その行動や立ち振る舞い、戦い様としても日本の多くのソフトテニスプレーヤーたちの良き手本となる活動を行えたと評価している。

ただ、まだまだ至らぬところ、目標が達成できなかった種目もあることから、現状に満足することなく、スタッフはさらに経験と学びを重ね、選手にとってより心強い存在とならなければならない。また選手たちももう一度自分自身の活動を見直し、想いを持って行動し続けなければならない。今後熟考を重ね、さらに強い日本代表チームを作り上げていきたい。

チームの成長について

結果的には大会後半の好成績により全体的には好成績となったものの、シングルスにおける広岡選手の初日敗退、ミックスダブルスで金メダルを逃すなど、チームは決して想像通りの良いスタートが切れていなかった。

ここからの巻き返しを図り、最高の結末を迎えるためには、それぞれがもう一皮脱ぎ捨て、もう一回り成長し、チームとしてもう一段階ステージを上げること



シングルスとダブルスで優勝を飾り、国別対抗戦でも活躍した上松選手



ミックスダブルスで準優勝の丸山・天間ペア。惜しくも金メダルを逃した

が必要だと感じていた。スタッフでも緊急的にミーティングを重ね、その対策を検討していた。その不安を払拭するかのように、そこから選手たちは集中力を研ぎ澄ませ、もう一段階、二段階上のパフォーマンスを発揮し、ダブルスからの快進撃へと繋がった。また、その裏にはスタッフ（コーチ、科学サポートメンバー）の自分に与えられた役割以上の働きや、身を削るようなチームへの献身的なサポートがあった。大会を通して選手のみならず、スタッフも日に日に成長しチームの活動をより良いものへと変化させてくれた。

選手とスタッフがお互いを尊重し、お互いの成長に興味を持ちながら戦えたことは、チームをさらに強くしてくれた要因だと考えている。まさに選手を中心として、アントラージュも共に成長する「アスリートセンターード」なチームとなってきたことを感じた大会であった。

スタッフの充実について

今チームから堀コーチをチームに迎え入れ、コーチ2名、トレーナー1名、科学サポートスタッフ2名（分析・心理）マネージャー1名（男女）体制でのチーム編成を実行できることとなった。

堀コーチに関しては、NTT西日本監督として多くの代表選手を育成してきた経験から、新たな発想や斬新なアイデアを持って、チームに新しい風を吹き込んでくれた。その発想やアイデアもあり合宿での強化が進み、ダブルス、国別対抗戦の勝利に繋がった。現地においても、選手との親身なコミュニケーションによっ

てパフォーマンスを向上させてくれた。

そのことも含め、スタッフが充実し役割を分担し、時には協力・協働しながら動くことで、チームの機動力を向上させ、良いムードも作り出してくれた。

さらに科学サポートメンバーの緒方氏（分析）、村山氏（心理）に関しても、アナリストや心理サポーターとしてご自身の役割を十分に果たし、チームの勝利に貢献してくれたことはもちろんであるが、その役割以上の仕事もこなしてくれたことはチームのより強い一体感を生み出し、総合力での勝利に大きく貢献していただいたと考えている。

もちろんトレーナーの働きにより選手はコンディションを維持し大会期間を戦い抜いたこと、マネージャーの存在により、試合以外の場面で大きなストレスを感じることなく過ごせたことがチームのパフォーマンスを向上させていることは言うまでもないことである。

いずれにしても、強化合宿時からスタッフ同士がコミュニケーションを密に取り、連携・協力・協働体制を築いてきたことが今回の勝利に繋がったことは間違いなく、今後もそのような関係性の強化に努めていきたい。

ミックスダブルスの強化

今大会の男子チームは、「全種目同士討ち決勝」という目標を掲げ、強化へと取り組んできた。国別対抗戦優勝、ダブルス同士討ち決勝、シングルス優勝という輝かしい成績を残したものの、チームの掲げた目標に達することはできなかった。

シングルスに関しては、広岡選手が初日で敗退してしまうという事態となったが、国別対抗戦決勝では見事に勝利し、チームでの取り組みの成果もコート場で表現してくれた。ミックスダブルスに関しては、昨年の世界選手権、今年のアジア選手権と惜しいところまで行くものの金メダルを逃している。大会の少なさや、男女チームの合宿スケジュールや強化プログラムの調整が難しく、強化機会が多くないことが主な原因として挙げられるが、来年以降の戦いを想定して具体的な施策が必要であることは間違いない。今後開かれるスタッフミーティングにてその内容を検討し、具体策を実行していきたい。



国別対抗戦でライバル韓国を退けて優勝を遂げた男子チーム

テニスからの学び

以前の報告の通りではあるが、今チームでは強化合宿において亜細亜大学教授であり、テニス部監督の堀内先生にサービスやシングルの戦術・戦略に関する講義と実践を行っていただいた。

テニスの知識からさらなる強化の可能性を得て、強化項目などをさらに充実させることができたことが今回の戦いを有利に進める一助となった。特にサービスに関しては、そこで優位性を取ってきた昨年にも増して、相手国にとっては脅威となり、オーバーハンドサービスの強化、そこからのポイント率の向上という面での強化が大きな成果を挙げた。大きなヒントをくださった堀内先生に感謝したい。

今後の戦いでは、サーフェスの変化により、また今年、昨年とは違った状況になることは予想できるが、サービスからのポイント率という観点に違いはないと考えているため、また工夫を凝らした強化を進めていきたい。

選手のフィジカル・コンディショニングに関して

2026年アジア競技大会に向けて、「世界に通用する個の強化」をフィジカル強化指針として掲げ今年で3年目を迎えた。

今回の日本代表の選手達は年間を通じたコンディショニングトレーニングを継続していることもあり、大会期間を通じて大きなコンディションの不調もなく終わることができたのは大きな収穫であった。合宿時からトレーニング、栄養、休養を包括的に取り組む

ことの重要性を伝えてきたため、本番を迎える準備がしっかりできていたと感じた。

今後もアジアのみならず世界のトップに君臨するためには、現在行なっているアスリートとしてベースラインのコンディショニングトレーニングを継続している状況から更にレベルを上げて、より個別に包括的な強化が必要である。特に来年からはサーフェスがハードコートに戻るため、下半身の爆発的な筋力（負荷耐性）、間欠性回復力などが要求される。

国際ルールの整備について

昨年度も大会後の振り返りの中で問題提起した内容と重複するが、今大会でもコーチングに関するルールが整備されることはなく、曖昧な状態で大会が進行することになった。昨年度の反省を活かし準備してきたことで、チームにとって問題となるようなことは起こらなかったが、プレーする選手、大会を見る観客など、さまざまな観点からルール整備を進める必要性を感じている。

また、組み合わせに関して、監督者会議にて前回大会の結果が反映されていない組み合わせであることが発覚した。前回大会の準決勝で対戦した対戦国と今回大会でも対戦するという、いわゆるシード決めの問題であるが、運営本部へ問い合わせたところ、前回同率3位だったチームに対する第3シードと第4シードの決め方にルールはないとの回答であった。国際場面で日本流を主張しても意味はないと思い納得せざるを得なかったが、組み合わせは優勝を狙う日本・韓国・中華台北のみならず、メダルを狙うソフトテニス新興国にとってもナイーブな点であることから、国際統括組織において、組み合わせについてのルールや申し合わせなどの検討をお願いしたい。

アントラージュとの関係性について

今回大会においても、ご家族を中心に日本から多くの応援者が会場へ駆けつけてくれた。

アウェーであったにもかかわらず、初戦のシングルス種目から声を合わせた合同応援が行われ、他国と比較しても日本の応援が際立ち、他チームへの先制攻撃となった。応援団が観戦や応援を楽しむことによって選手の悲壮感が軽減され、選手自身も勝負を楽しむ雰囲気

気が醸成されており、ネガティブな感情をポジティブに変換しやすい空気感となっていたのは間違いない。

今回は大会スタート時点での現地での日本応援団は多くなかったため、堀コーチや心理サポートの村山先生がリードし応援団をまとめてくれた。もともとの役割に集中していただくためにも、特に地元開催の国際大会においては、日本ソフトテニス界の力を集結させるための応援団長のような存在を配置することが、より団結したチームジャパンの脅威を示すことにつながるのではないかと考える。

また、現チームでも合宿地での講習会なども実施しているが、大会までにできることとして、ステークホルダーとのより良好な関係性を築き、チームの応援者を増やすような取り組みにも注力していきたい。

注：アントラージュ＝アスリートを取り巻く、選手と関わりを持つ全ての人々

謝辞

今回の大会にあたり、オフィシャルサプライヤーであるヨネックス様には、ウェアやバッグなどの提供、ストリングサービスなどにより、選手のパフォーマンス発揮のためのサポートをいただいた。また、アジア連盟、韓国連盟の方々には盛大な開会式から始まり、通訳なども含めて現地での細かな対応において多くのことにご配慮をいただいた。さらには、選手のご家族や関係者、日本のソフトテニスファンの方々が現地へ足を運び、大きな声援により声を枯らしてくれた。

チームを代表し、この場をお借りして大会運営やチームの活動へ関わってくださったすべての方々に対して感謝したい。

女子

文・佐藤 英宣

昨年の悔しさを晴らした今年の結果

今大会の女子の結果について、4種目中 シングルス・ダブルス・国別団体の3種目で金メダルを獲得し、最高の成績を収める事ができ、昨年の悔しさを晴らした結果である。

また、金メダルの3種目とも男女のアベック優勝もある。メダル数では、男女で、金メダル6個、銀メダル2個、銅メダル3個で計11個のメダルを獲得し、過去最高のメダル数を獲得した。

シングルスを振り返って

シングルスにおいては、韓国の大エースで昨年の覇者であるLEE MINSEONが優勝候補筆頭と噂される中、準決勝で岩倉選手がゲームカウント2-3での4本のマッチポイントを凌ぎファイナルゲームへ。あと一歩まで追い詰め大接戦を繰り広げたが、惜しくもファイナル3-7で負けた。反対ゾーンの天間選手は、危なげなく順当に決勝まで上がり、岩倉選手に競り勝ったLEE MINSEONとの決勝戦となった。

お互いの絶妙のコントロールショットで、ゲームカウント2-2となり、第5ゲームも、互いのスーパースhotsや、体勢が崩れかかってもオンザラインを

派遣メンバー

監 督	佐藤 英宣
コ ー チ	三浦 洋美、菅野 創世
トレーナー	市山 裕梨
マネージャー	川上 晃司
医科学サポート	村山 孝之、高橋 和孝
出 場 選 手	前田 梨緒、中谷 さくら、 宮前 希帆、天間 麗奈、 岩倉 彩佳、前川 愛生

狙ったショットで長いデュースになる。10 - 12の攻防で、LEE MINSEONがゲームカウント2-3でリードする。

ここから天間選手が集中力を更に上げ、勇気を振り絞り先制攻撃を仕掛け、4-0で第6ゲームを取り、3-3のファイナルゲームへ。天間選手の攻撃は止まらず、逆にLEE MINSEONの足が止まる。天間選手は第6ゲームから数えて10本連続ポイントを取り、6-0のマッチ。1本取られたが、7-1でファイナルゲームを取り、金メダルを獲得した。約50分の試合であった。

LEE MINSEONは、準決勝の対岩倉戦もファイナルであり、フィジカル的にも相当ダメージがあったと

戦績

【シングルス】

▽準決勝

天間 麗奈 ④－０ FU XIAOCHEN
(日本) (中国)
LEE MINSEON ④－３ 岩倉 彩佳
(韓国) (日本)

▽決勝

天間 麗奈 ④－３ LEE MINSEON

【ダブルス】

▽準決勝

前田 梨緒 ⑤－４ HUANG SHIH-YUAN
中谷 さくら HSU CHIAO-YING
(日本) (中華台北)
HWANG JEONGMI ⑤－４ 前川 愛生
LIM JINAH 宮前 希帆
(韓国) (日本)

▽決勝

前田 梨緒 ⑤－３ HWANG JEONGMI
中谷 さくら LIM JINAH

【国別対抗戦】

▽準決勝

日本 ②－０ 中華台北
韓国 ②－０ 中国

▽決勝

日本 ②－０ 韓国

※全種目、ベスト４以上のみ掲載



韓国の強豪を激戦の末に倒して初優勝を飾った天間選手

チを凌いだ、ゲーム入りとファイナルの入りが悪く、追いかける場面が多く、惜しくもファイナルで敗退となった。

前田・中谷ペアは、準決勝で中華台北のエースペアであるHUANG SHIH-YUAN・HSU CHIAO-YINGペアにファイナルの7－5で競り勝ち、決勝に駒を進めた。

決勝は、前川・宮前ペアに勝ったHWANG JEONGMI・LIM JINAHペア。前半はリードを許すが、中谷選手の攻撃ボレーと前田選手の角度のついた強打で相手のバックを狙いポイントを重ねる。HWANG JEONGMI・LIM JINAHペアの3球目攻撃をかわし、自身の攻撃パターンに持っていく、ゲームカウント1－3から、一気に4ゲーム連取して⑤－3で勝利し、ダブルスも日本が金メダルを獲得した。

昨年の反省から、クレイコートの速い打球の対応として、先に攻める打球と相手が攻めてきたボールを、しっかりとロブで凌いだり、早い準備から打ち返ししたりと、得点に繋がる場面が多くあり、後衛の攻撃型ストロークの強化の成果が見られた。もともとパワーのある後衛陣ではあるが、更に強化が図れたと感じた。

前衛陣も、先に攻撃するポーチと、相手の配球を読み、確実なボレーとスマッシュでポイントを重ねた。相手に対応した戦略を考え、適したポジションからの攻撃が出来たのもフィジカルを鍛えた成果で、クレイコートでもよく足も動き、相手の強打を止めた。

どの試合も、一瞬でも気を抜くと一気に流れをもっていける接戦であったが、メンタルの強化の成果もあり、最後まで集中し、勇気を振り絞り、大一番の緊張した場面でも攻撃出来たのが勝利に結びついた。

思われ、岩倉選手と天間選手の両名での勝利とも言える。天間選手と岩倉選手の両名を称えたい。

両名の戦いぶりから、今大会に向けて、チームで掲げている「3つのキーワード・5つのプレー目標」が実を結び、先制攻撃・連続攻撃が随所に見られた。また、昨年の反省の中にあつた、フィジカル強化を実施したことにより、ストローク後のバランスや、戻りのスピードも改善でき、また、厳しい体勢のなかでも、得意なテクニックを生かし、狭いコースを狙えるショットを打ち、フィジカルとメンタルとスキルの強化で、念願のシングルスでの金メダルを獲得できた。

ダブルスを振り返って

ダブルスにおいては、前川・宮前ペアが準決勝でHWANG JEONGMI・LIM JINAHペアに4本のマッ

国別対抗戦を振り返って

国別対抗戦においては、強化合宿での多様なペアリングの準備により、個々の調子と相手国のオーダーを読んだ。中華台北戦では、1番を天間・宮前ペア、2番のシングルスも岩倉選手、3番に前田・中谷ペアのオーダーで挑み、個人戦（シングルス・ダブルス）の勢いとチーム力で、1番の天間・宮前ペアが試合開始から10本連続ポイントで完全に流れを掴み、中華台北のエースを⑤－0で封じ、続くシングルスも岩倉が落ち着いた試合運びで勝利し、中華台北を②－0で勝ち、韓国との決勝戦に駒を進めた。

韓国戦のオーダーは、1番のダブルスを金メダルの前田・中谷ペアに託し、2番のシングルスも金メダルの天間選手、3番は昨年の韓国との決勝戦で3番勝負が出来なかった前川・宮前ペアを配置し、強気のオーダーで挑んだ。

前田・中谷ペアは金メダルの貫禄を発揮し、堂々たるプレーでKIM YEON-HWA・KIM YUJINペアを⑤－1で勝利。続く天間選手は、シングルスの決勝で勝利したLEE MINSEONとの再戦。個人戦のリベンジで挑んでくるLEE MINSEONに対し、怯むことなく果敢に攻撃。一進一退の展開であったが、後半に天間選手が更にギアを入れ一気にポイントを重ね、④－2で勝利し、国別対抗戦も金メダルを獲得した。

特に国別対抗戦では、スタッフも含めたチーム全体が一体となり、試合を楽しむかのように自信に満ちた良い表情でテニスコートに立ち、堂々たる姿で戦い抜いた結果、素晴らしいスコアで金メダルを獲得できた。

まとめ

今大会には直前合宿より高橋先生（分析）に入ってもらい、ゲームの撮影、動画の編集、他国情報の収集、本大会には村山先生（心理）にも帯同してもらい、個別トレーニングやVRヘッドセット（パリ五輪でも導入）を選手のマインド調整に活用し、チームの勝利に大きく貢献してもらった。

各選手は若い選手でありながら、長期に亘り、日本代表の重圧に耐え、日々の努力を絶えず行い、時には大きく悩んだりしながらも、世界で戦える選手に成長。

今後は、来年のアジア競技大会の向け、追われる立場になり、自国開催という、また違ったプレッシャーがかかる中、ハードコートというサーフェスでの戦略の強化が必要である。

次なる目標の、自国開催での完全制覇という大きな目標達成に向け、新たな強化方針を掲げ、チーム一丸となって強化を行っていく。

今年の強化の成果

- ・フィジカル強化により、ストローク後のバランス・戻りのスピードが向上
- ・先制攻撃・連続攻撃の戦術が浸透
- ・クレーコート対応力の向上（ロブ・打ち返し）
- ・後衛の攻撃型ストロークの精度向上
- ・前衛のポーチ・スマッシュの決定力強化

謝辞

最後に、多大なるご尽力を頂きました（公財）日本ソフトテニス連盟の皆様、オフィシャルサプライヤーであるヨネックス様をはじめとする各スポンサーの方々、合宿等でお世話になりました方々に、厚く御礼申し上げます。

今後も皆様のご期待に添えるよう精進して参りますので、引き続き、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



国別対抗戦の頂点に立った女子チーム。決勝では韓国を②－0で勝利

【男子シングルス】

[illegible]

【女子シングルス】

		日本 天間 麗奈			
1	韓国	LEE MINSEON		フィリピン	C. PRINCESS LORBEN 18
2	スリランカ	BEIRNE-KEYT MANIK DIANA	0	トルクメニスタン	DOS REIS GAMA LETIZIA 19
3	タジキスタン	BOBODZHANOVA Z A R I N A	0	ウズベキスタン	TUAEVA DARYA 20
4	ネパール	Y O N J A N S H R E Y A	0	中華台北	HUANG YU-TZU 21
5	インド	R. DHEEPA Y A Z H I N I	1	ニュージーランド	HOBSON AMELIA 22
6	タジキスタン	DEHQONOVA D I L F U Z A	0	韓国	KIM YUJIN 23
7	ベトナム	TRAN THI NGOC MINH	0	スリランカ	H. PIYUMI AHINSA JAYAMINI 24
8	韓国	H W A N G J E O N G M I	3	ジョージア	TATYANA CHSHERBAKOVA 25
9	ニュージーランド	YU SHANNON	0	日本 天間 麗奈	26
10	タイ	PHOONPHON S I R I K O R N	0	インドネシア	TIWARI AADHYA 27
11	中国	ZHENG YIZHEN	1	ベトナム	LE BAO ANH 28
12	日本 岩倉 彩佳		1	インドネシア	NAFIIAH ALLIF 29
13	モンゴル	GANBOLD KHONGORZUL	1	フィリピン	SANOSA CHRISTY 30
14	韓国	KIM YOURIM	3	モンゴル	GANTUR ANU-UJIN 31
15	カンボジア	C H H A N C H H E A V H O U Y	0	カンボジア	KI MENGCHOUNG 32
16	サイパン	LIM SARAH	0	タイ	NKYI BENLINDA 33
17	中華台北	C H I A N G M I N - Y U	0	ネパール	CHAUDHARY RITIKA 34
				中国	FU XIAOCHEN 35



優勝を決めた瞬間
の天間選手



準決勝で韓国 No1
をあと一步まで追
い詰めた岩倉選手

【ミックスダブルス】

		中華台北		YU KAI-WEN HUANG SHIH-YUAN			
1	日本	上松 俊貴 前田 梨緒				中国	LI RUNCHENG FU XIAOCHEN 17
2	ニュージーランド	SHI RYAN YU SHANNON	0		1	タイ	THIENCHAI PONG POOMPAT NKYI BENLINDA 18
3	韓国	SONG MINHO HWANG JEONGMI		1	1	モンゴル	BATAA MUNKHULGA BATAA CHINMURUN 19
4	モンゴル	MUNGUN BALJINNYAM GANBOLD KHONGORZUL	1		0	カンボジア	D. SAMSOCHAPHEARUN KI MENGCHOUNG 20
5	韓国	PARK SANGMIN JI DAYOUNG		2	1	フィリピン	M. GEORGE PATRICK C. PRINCESS LORBEN 21
6	カンボジア	SAM CHANKABY CHHAN CHHEAVHOUY	1		1	ベトナム	NGUYEN VAN KHANH LE BAO ANH 22
7	タジキスタン	RADZHABMADOV KOSIM BOBODZHANOVA ZARINA	0	1	1	ネパール	PANDEY BRIJESH CHAUDHARY RITIKA 23
8	ニュージーランド	JONES KAWEN ALIPATE ANNA		0	1	インド	MEENA JAY TIWARI AADHYA 24
9	中華台北	YU KAI-WEN HUANG SHIH-YUAN		2	3	インド	PATEL ANIKET CHIRAG PANDEY TANU SHRI 25
10	ベトナム	TRAN XUAN HOANG TRAN THI NGOC MINH	0		0	中華台北	KUO CHIEN-CHUN ZHOU YAN-ZHEN 26
11	フィリピン	NUGUIT SAMUEL REANE M. NOELLE CONCHITA	3		0	日本	丸山 海斗 天間 麗奈 27
12	中国	YANG HAOLONG YANG YIHAN		0	0	ネパール	KHATRI PRADIP YONJAN SHREYA 28
13	韓国	KIM HYEONGJUN KIM YEON-HWA		2	0	トルクメニスタン	E. FILIPE GAMA HENRIQUE DOS REIS GAMA LETIZIA 29
14	タイ	N. PRASROEDCHAI RASITA KOOLNONGDAENG	0		0	タジキスタン	KURBONOV SIRODZHIDIN DEHQONOVA DILFUZA 30
15	ウズベキスタン	KOZIMOV ASLBK TUAIEVA DARYA	0	2	0	ジョージア	GIORGI GIORGADZE T. CHSHERBAKOVA 31
16	インドネシア	SANGER FERNANDO NAFIIAH ALLIF		2	0	韓国	PARK JAEKYU LEE MINSEON 32



決勝まで勝ち進んだ丸山・天間ペア



会場には日本から多数の方が応援に来て日本チームとともに盛り上げた

【男子ダブルス】

日本		内本 隆文 上松 俊貴			
1	日本	上岡 俊介 丸山 海人		韓国	LEE HYUNGWON PARK JAEKYU 18
2	カザフスタン	MALTSEV VADIM MALTSEV MAXIM	0	イラン	SOURI OMID REZEAL VAHID 19
3	マレーシア	SINGH PEARLJIT LAM BAO LONG	0	ニュージーランド	JONES KAWENA STEPHENS BENJAMIN 20
4	中国	WANG ZHE LI YUANHAO	0	パキスタン	A. HAMZA AHMED SAEED A. HUSSAIN AHMED SAEED 21
5	パキスタン	TAHIR SALMAN BASHIR RAFAE	0	モンゴル	BATSAIKHAN GAN-ERDENE K. KHALIUNBAYAR 22
6	韓国	MUN DAEYONG PARK SANGMIN	2	中国	LI RUNCHENG CAO JUNYI 23
7	タジキスタン	KURBONOV SIRODZHIDIN RADZHABMADOV KOSIM	0	インド	A. RAJVEER MAHENDRASINH THAKUR ARYAN 24
8	インドネシア	B. PRADEWA BAGUS ANGGA FADILAH SAIFUL	1	ネパール	PANDEY BRIJESH KHATRI PRADIP 25
9	モンゴル	BAYARMAA BILGUUN BATAA MUNKHULGA	0	インドネシア	SANGER FERNANDO A. MUHAMMAD FAJAR 26
10	インド	CHOUDHARY YOGESH YADAV OM	2	ベトナム	NGUYEN VAN KHANH TRAN XUAN HOANG 27
11	タイ	SAAT THATCHAPONG PHOONPHON KANISORN	0	フィリピン	MORALDE ADJUTHOR NUGUIT SAMUEL REANE 28
12	中華台北	CHEN YU-HSUN CHEN PO-YI	4	日本	内本 隆文 上松 俊貴 29
13	カンボジア	SAM CHANKABY SAY SOCHETRA	0	ウズベキスタン	MIRZAEV HUSHNUDBEK KOZIMOV ASLBEK 30
14	韓国	SEO KUEON KIM HYEONGJUN	0	韓国	HWANGBO EUN SONG MINHO 31
15	ベトナム	PHAM TRUNG DUNG LE TUAN ANH	0	マレーシア	LIM BRANDON ZHI HONG NG JAYDEN JAY 32
16	ニュージーランド	FOWLIE NICHOLAS SHEVCHENKO BOGDAN	1	タイ	N. PRASROEDCHAI THIENCHAIPOONG POOMPAT 33
17	フィリピン	ARCILLA JOSEPH M. GEORGE PATRICK	1	ブータン	RINZIN CHIMMI CHOEDA JAMYANG 34
				中華台北	YU KAI-WEN KUO CHIEN-CHUN 35



日本ペア同士の決勝となった男子ダブルス。勝利を飾ったのは内本・上松ペア



厳しい戦いを勝ち上がった上岡・丸山ペアは準優勝

【女子ダブルス】

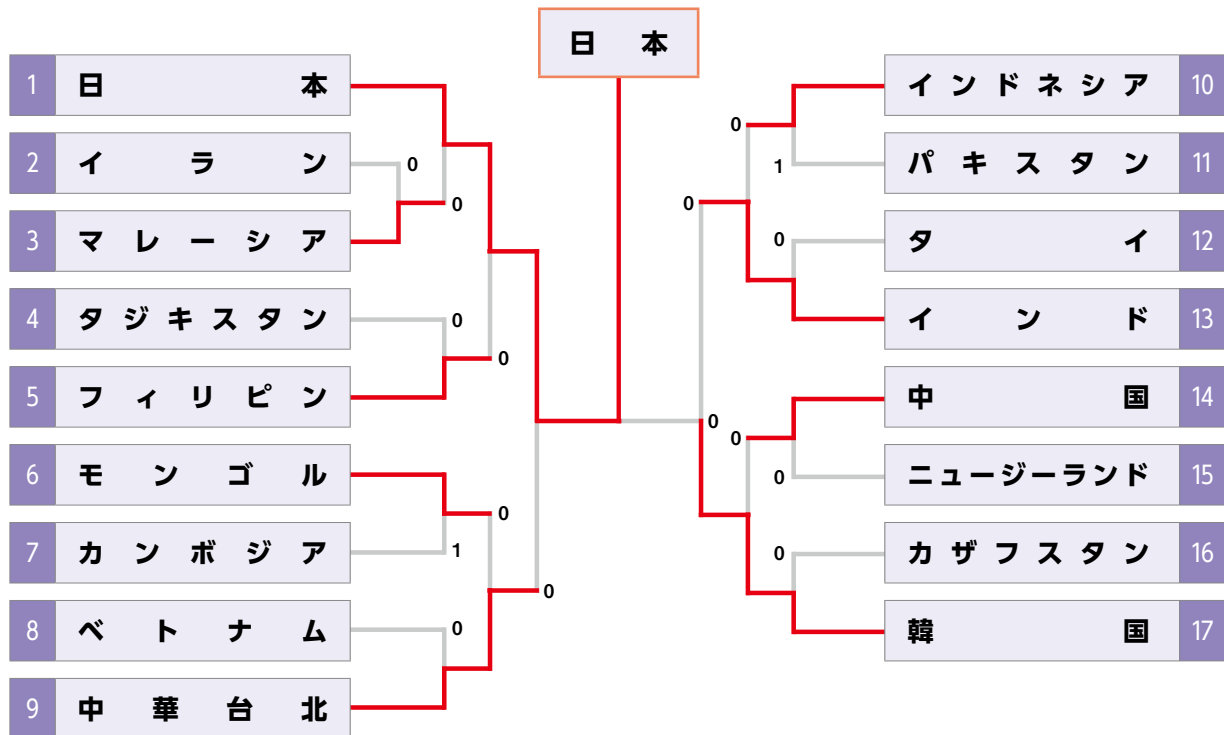
日本		前田 梨緒 中谷 さくら				
1	日本	前田 梨緒 中谷 さくら		中華台北	ZHOU YAN-ZHEN CHIANG MIN-YU	13
2	タイ	JUNKHAM CHAYAPRON RASITA KOOLNONGDAENG	1	韓国	LEE CHORONG MOON HYEWON	14
3	フィリピン	EBRIEGA BEA YSABEL SALAZAR SHYRYN GYBRYL	0	中国	LI MENGKE ZHANG ZHENAI	15
4	タジキスタン	DEHQONOVA DILFUZA BOBODZHANOVA ZARINA	0	スリランカ	BEIRNE-KEYT MANIK DIANA H. PIYUMI AHINSA JAYAMINI	16
5	韓国	JI DAYOUNG RO EUN JI	0	日本	前川 愛生 宮前 希帆	17
6	ニュージーランド	HOBSON AMELIA HOBSON CHERYL	0	フィリピン	M. NOELLE CONCHITA C. PRINCESS LORBEN	18
7	モンゴル	BATAA CHINMURUN GANBOLD KHONGORZUL	1	ベトナム	LE BAO ANH TRAN THI NGOC MINH	19
8	中華台北	HUANG SHIH-YUAN HSU CHIAO-YING		モンゴル	GANTUR ANU-UJIN G. KHOSSOLONGO	20
9	中国	YANG YIHAN ZHENG YIZHEN	2	インド	NELAKUDITI ANUSHA YADAV MUSKAAN	21
10	カンボジア	KHUN CHANROSEKA CHHAN CHHEAVHOUY	0	ネパール	CHAUDHARY RITIKA YONJAN SHREYA	22
11	韓国	KIM YEON-HWA KIM YUJIN	2	タイ	NKYI BENLINDA PHOONPHON SIRIKORN	23
12	インド	R. DHEEPA YAZHINI K. MARIMUTHU NARUMUGAI	1	韓国	HWANG JEONGMI LIM JINAH	24



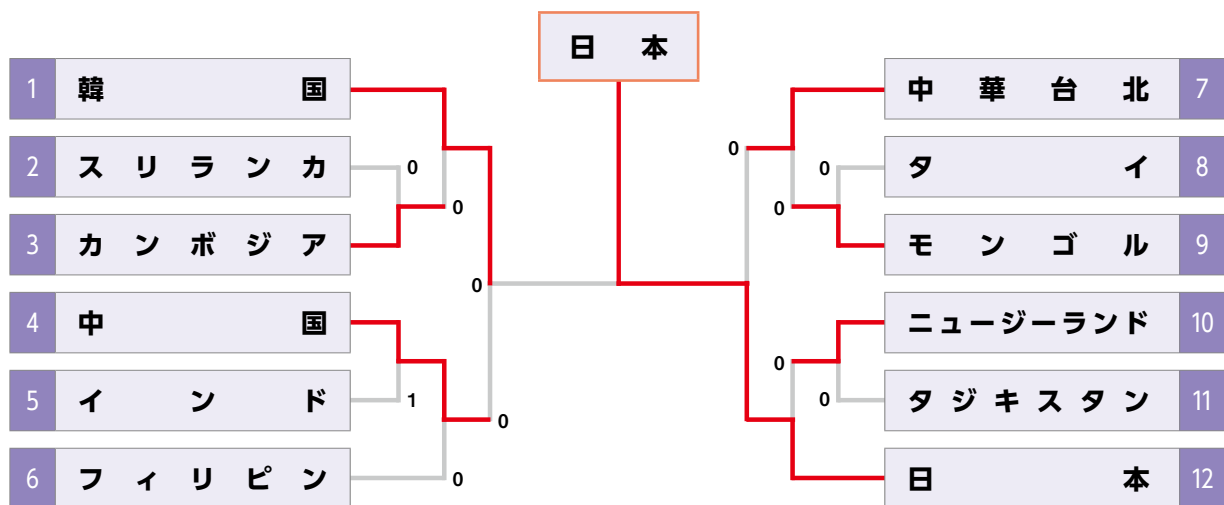
前川・宮前ペアは準決勝で韓国ペアに惜敗したものベスト4

前田・中谷ペアは嬉しい優勝を果たす

【男子国別対抗戦】



【女子国別対抗戦】



日本選手団。7 種目中 6 種目で金メダル獲得という圧倒的な強さを見せつけた

飛びも新次元へ



far beyond ordinary

GEOBREAK
OFFICIAL WEB SITE



2nd GENERATION

GEOBREAK

50⁴S / 50⁵S / 50⁶V

ジオブレイク50パーサス・50S・50V / ¥23,100(税込) / 2024年2月中旬発売予定 / 日本製

COUNTERBALANCE UNIT

GYROBURST
SYSTEM 2.0

-SERVO FILTER-

www.yonex.co.jp



YONEX JAPAN



yy_softtennis



yonex_jp



全日本シニアソフトテニス選手権大会

■ 9月20日～21日 兵庫県・神戸市 神戸総合運動公園テニスコート、しあわせの村テニスコート、
京都府・福知山市 三段池科研電機テニスコート、舞鶴市 東舞鶴公園テニスコート

兵庫県ソフトテニス連盟、京都府ソフトテニス連盟

今年も男女とも7種目に分かれ、2日間にわたって熱戦を繰り広げました。
各種目の決勝スコアと優勝ペアの表彰写真をご紹介します。

【男子50】

▽決勝

北野 敏明・大津 竜二 ④－1 森宗 浩慈・奥山 浩史
(大阪. 堺ソフトテニス連盟・ (岡山. プロシードクラブ・
愛知. 東邦ガス) ENEOS)

【男子55】

▽決勝

石井 靖浩・今村 義美 ④－3 中島 通晴・平井 勝己
(岡山. ENEOS・ (静岡. 浜松市役所・
香川. なかよしクラブ) 愛知. デンソー)

【男子60】

▽決勝

堀越 晴夫・千野 一也 ④－2 竹内 宏明・今井 克宏
(東京. 板橋倶楽部・ (千葉. 船橋クラブ・
たちばなクラブ) 東京. NIKON)

【男子65】

▽決勝

鈴木 義之・指宿 睦仁 ④－1 荒木 義幸・松本 宣博
(兵庫. 西脇クラブ・ (熊本. 苓北クラブ・
高丘クラブ) 宇土クラブ)

【男子70】

▽決勝

常久 正則・藤原 潔志 ④－2 中島 哲弥・松村 俊介
(岡山. 瀬戸クラブ) (長崎. 大村市協会・
熊本. 松橋クラブ)

【男子75】

▽決勝

木藤 勝敏・豊福 尚弘 ④－1 高橋 良一・宮崎 敏行
(大阪. 大阪OB軟庭会・ (神奈川. JFE鉄友会・
佐賀. 上峰クラブ) 大和庭友会)

【男子80】

▽決勝

三浦 克忠・有馬 勝正 ④－3 安藤 和男・高橋 邦彦
(神奈川. 厚木フレンドリー・ (埼玉. 浦和あづまクラブ・
大和庭友会) 上福岡テニスクラブ)

【女子50】

▽決勝

寺田 祥子・成田 扶美代 ④－0 上村 知栄子・小谷 麻紀
(三重. 五十鈴クラブ・ (和歌山. L.C.C.・
大阪. KENKO) 大阪. 箕面サングリーン)



会場のひとつである神戸総合運動公園テニスコート

【女子55】

▽決勝

中牟田 千恵・片山 順子 ④－1 宮尾 真由美・花園 安紀
(福岡. 福大クラブ) (埼玉. 所沢ペアート・
東京. 杉並文化クラブ)

【女子60】

▽決勝

田中 道子・西川 淳子 ④－3 打和 久美子・神社 純子
(神奈川. 横浜レディース (京都. クレインズクラブ)
むつみクラブ)

【女子65】

▽決勝

大久保 祐子・矢野 伊知子 ④－3 稲田 次美・中尾 信子
(埼玉. 寄居かたくりクラブ) (愛媛. 愛媛県レディース協会・
大阪. フリークラブ)

【女子70】

▽決勝

岸 知恵子・伴戸 明己 ④－3 尾張 由美・岩原 慶子
(栃木. サンスポーツクラブ・ (愛知. 岡崎レディース)
北海道. 札幌白石クラブ)

【女子75】

▽決勝

植山 正子・大畑 政子 ④－3 佐野 邦子・小里 節子
(埼玉. 浦和けやきクラブ・ (岐阜. 大垣早起会・
鴻巣レディース) 本巣STC)

【女子80】

▽決勝

横野 久美子・渡辺 伸江 ④－2 服部 京子・近藤 綾子
(愛知. すみれクラブ) (愛知. すみれクラブ・
兵庫. 二見クラブ)



会場で見られた日本ソフトテニス連盟の旗や大会の横断幕

男子 50



優勝
北野 敏明・大津 竜二
(大阪. 堺ソフトテニス連盟・
愛知. 東邦ガス)

男子 55



優勝
石井 靖浩・今村 義美
(岡山. ENEOS・
香川. なかよしクラブ)

男子 60



優勝
堀越 晴夫・千野 一也
(東京. 板橋倶楽部・
たちばなクラブ)

男子 65



優勝
鈴木 義之・指宿 睦仁
(兵庫. 西脇クラブ・
高丘クラブ)

男子 70



優勝
常久 正則・藤原 潔志
(岡山. 瀬戸クラブ)

男子 75



優勝
木藤 勝敏・豊福 尚弘
(大阪. 大阪 OB 軟庭会・
佐賀. 上峰クラブ)

男子 80



優勝
三浦 克忠・有馬 勝正
(神奈川. 厚木フレンドリー・
大和庭友会)

女子 50



優勝
寺田 祥子・成田 扶美代
(三重. 五十鈴クラブ・
大阪. KENKO)

女子 55



優勝
中牟田 千恵・片山 順子
(福岡. 福大クラブ)

女子 60



優勝
田中 道子・西川 淳子
(神奈川. 横浜レディース・
むつみクラブ)

女子 65



優勝
大久保 祐子・矢野 伊知子
(埼玉. 寄居かたくりクラブ)

女子 70



優勝
岸 知恵子・伴戸 明己
(栃木. サンスポーツクラブ・
北海道. 札幌白石クラブ)

女子 75



優勝
植山 正子・大畑 政子
(埼玉. 浦和けやきクラブ・
鴻巣レディース)

女子 80



優勝
横野 久美子・渡辺 伸江
(愛知. すみれクラブ)



Developing Technology into the Future

私たちは、トータルな視野でシステムを捉えお客様の個別のニーズに的確に対応します。



カメラモジュール・水晶デバイス・センサデバイスなど、電子部品の生産設備を複合的な技術と視点で、計画から開発・運用サポートまでのソリューション型製品として提供しています。

アクティブアライメント装置 AAAS860

CMOSセンサへVCMユニットを組み合わせ、6軸でアクティブアライメント後、接着剤の仮硬化を行います。



レンズ組み立て装置 ALDS860

複数枚のレンズを一枚ずつ搭載し、接着剤塗布・UV硬化を行い、収納トレイに収納を行います。



リッド仮付け・真空アニール・真空シーム溶接装置装置 AVSS860

水晶振動子、MEMSセンサなどのセラミックパッケージにリッド仮付け・真空アニール後、真空中で気密封止を行います。



アキム株式会社 埼玉県東松山市宮鼻860-12 Tel:(0493)35-1140代 Fax:(0493)35-1141 URL:<https://akim.co.jp>

全日本アンダー 21 男子強化合宿

報告

■9月24日～26日

東京都・江東区 有明テニスの森公園テニスコート

監督：紙森 隆弘、コーチ：小牧 幸二、トレーナー：北村 壘

合宿の目的

意識改革をテーマにU-21から全日本選手権優勝を目指すとともに、ナショナルへの昇格するためには、さまざまな大会でナショナル選手と対戦するところまで勝ち上がり、勝利し結果を残すこと。そして、全日本ランキングで上位入賞すること。さらに、2026アジア競技大会で金メダルを獲得する選手を育成する。

また、今回の合宿は全日本選手権大会と同じ会場の有明テニスの森公園で開催し、ハードコートでの試合を想定した練習やゲームを行った。また、来月に行われるJOC大会のペアリングでゲームを行い、優勝すれば次年度への推薦もされることへの意識づけなども行った。

合宿の成果と課題

11月に行われる全日本選手権大会に向けて、会場である有明テニスの森公園テニスコートで合宿を行った。

9月のはじめにインカレもあり練習前にはミーティングの中で、インカレでの反省や次の試合であるJOC大会、全日本選手権大会に向けての課題などの話を行った。また、アジア選手権大会での日本代表選手の活躍に触れながら全日本選手権大会ではその選手たちに追いつき追い越せるように、来年のアジア競技大会を目指すようにという話も行った。

ゲーム練習ではネットプレーヤーには常に積極的にプレーすること、触ったボールをできるだけフォローされない場所へ打つこと。ベースラインプレーヤーに

はネットプレーヤーが抜かれたボールを返球することばかりではなく逆転をして攻めに行く、切り返すボールを入れていくことなどの課題を与えて行った。また、バックボレーの見直しを行い細かな技術の習得を身につけることを今回の合宿までの課題とした。

10月にもこの会場で練習ができるのでそこまでに少しでもレベルアップを目指して取り組ませていきたい。

謝辞

今回の合宿に際し、(公財)日本ソフトテニス連盟には、さまざまな面でご配慮くださりありがとうございます。また、ヨネックス様をはじめメーカーの皆様のご協力に感謝して御礼の言葉といたします。

トレーナーより

3回目の合宿となった今回の合宿は、すでにインカレが終了し、各所属の練習は始まっているようだが、全日本選手権大会同様のハードコートで実施されるため怪我などしないようフットワークやリアクションドリルを入念に行いコートサーフェスへの順応を促進した。

継続してトレーニングを実施できている選手は、合宿後半も高いパフォーマンスを発揮できているように見受けられた。全日本選手権大会でまたベストパフォーマンスに持っていきけるよう、残り1ヶ月ナショナルチーム昇格へ向けて本格的に取り組みを継続して欲しい。



有明テニスの森公園テニスコートで合宿を行った選手たち

活動内容

9月24日(水)

13:00	集合 ミーティング
13:30	ウォーミングアップ
14:30	ボレーボレー ショートストローク 2対2でのショートストローク
14:55	ストローク
15:20	ミドルからクロスへ打つ→ボレー ミドルからクロスとミドルへ打つ→ボレー
16:30	クールダウン
17:30	ミーティング
18:30	夕食

9月25日(木)

9:00	ウォーミングアップ
9:45	ボレーボレー ショートストローク ストローク
10:45	ゲーム
12:30	昼食
13:40	ウォーミングアップ
13:50	ゲーム
16:40	クールダウン
17:30	ミーティング
18:00	夕食
19:00	インテグリティ教育研修(オンライン)

9月26日(金)

9:00	ウォーミングアップ
9:45	ボレーボレー ショートストローク ストローク
10:40	ゲーム
12:20	クールダウン
	昼食
13:30	ウォーミングアップ
13:45	ストローク
13:55	バックボレー
14:45	クールダウン
16:00	ミーティング
16:45	解散



ゲーム中の選手たち。それぞれの課題に取り組み。ハードコートへの順応に励んだ

上松 俊貴

日本(JPN)

使用ガット

SSSB11 ソニックブロー



上松俊貴選手使用
ソニックグリーン

SONICBLOW
ソニックブロー



内田理久選手使用
ブローブラック

内田 理久

日本(JPN)

使用ガット

SSSB11 ソニックブロー

GOSEN®



変わりゆく時代に

変われる強さを。

株式会社 **IFEES**



ホームページ

第33回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会

■ 8月23日～29日 中国・内モンゴル自治区包頭（パオトウ）市

慣れない環境をしなやかな心で対応 日本代表は中国とライバル韓国を倒す

会場のテニスコートはクレイコート

8月下旬に中国で開催されたジュニアの国別対抗戦。日本代表は男女各6名の高校生。慣れない環境だったにもかかわらず、「しなやかな心」で試合に集中し、中国とライバルの韓国を倒しました。詳細は以下の通りです。

男子

監督：松口 友也

総括

スポーツは「気晴らし、遊び、楽しみ」を語源としたものと認識しております。その中で、自身も国内ナショナルチームチームの指導者として、選手が「チャレンジング」な取り組みを積極的に自らが選択してできるようなサポートを心がけております。

今回、選手はそれらを見事に体現してくれました。国外での競技会という不安と緊張、同時に期待や希望を胸に臨んだものと思います。

選手へは「日本代表」の心得として、日頃からいくつか伝えておりますが、その中でも「しなやかな変化」です。それは国内ではあり得ないような予定変更や食事面の違いなど、国際大会で戦う上で、どんな場面でも「しなやかな心」で、プレーのパフォーマンスに影響を与えないような考え方の構築が重要であるとしております。高校生チームではありますが、今大会では変化にも顔色を変えず対応していく様が各選手にあり、日に日に成長を感じました。このような経験は実践でしか味わうことができないもので、そのような場を作っていただきました関係各位に改めて感謝申し上げます。

競技面

実際の対戦では「チャレンジングと解放」というテーマで臨みました。

今回選考された選手たちは現時点で国内最強を誇る集団ではあるものの、成長する過程においてセーブしている内面的な抑制を解除することを要求するべく、国内ではあり得ないペアリングを行い、あえて負荷をかけて臨んでもらいました。選手はその一つひとつの意図を汲み取り、慣れない環境下でナショナルチーム内において共通理解である「個の力」と「3つのスピード」（身体・思考・戦術）を見事に体現していました。

その結果、最大のライバルである韓国チームに勝利し、成果を感じ取ることができました。しかし、韓国戦で敗退した選手の中には国内の注目度が高い選手も含まれており、まだまだ世界の中で通用しないことを本人が体感していただけたものと思います。

ソフトテニスナショナルチームでは昨今、「プレーヤーズセンタード」を考え、全ての関わる人への幸福度を高めるべく、チーム一丸となって戦っております。選



試合中の日本男子ペア

日本選手団

	氏 名	所属 都道府県	所 属
男子監督	松 口 友 也	神奈川県	LIFE BOOST
女子監督	高 橋 茂	東京都	清明学園中学校
トレーナー	北 村 壘	北海道	勝スポーツセーフティー総合研究所
選手	男子	植 田 璃 音	奈良県 高田商業高校
		福 田 喜 大	大阪府 上宮高校
		南 龍 之 介	三重県 三重高校
		竹 内 慶 悟	三重県 三重高校
		塚 本 光 琉	愛知県 岡崎城西高校
		木 本 琉 偉	高知県 明德義塾高校
	女子	中谷 ももこ	兵庫県 須磨学園高校
		竹 田 羽 花	大阪府 昇陽高校
		山 口 優 菜	宮崎県 宮崎商業高校
		起 田 亜 旺	三重県 三重高校
		西 村 ひ よ	京都府 京都光華高校
		中 山 萌	宮城県 東北高校

(敬称略)

手を中心としたチーム作りの中で、所属の違う選手たちが一つの目標である「国際大会での金メダル」を胸に技と心を磨き、身体を鍛えています。この世代の選手たちにはその「マインド作り」が大きなテーマとなっており、今回のように、他競技も含め日本選手団として活動できたことは、彼らに「自覚」と「責任」をもたらし、コート内外で日本代表としての振る舞いを実行してくれていました。

競技会場などは素晴らしく、申し分ありませんでした。

生活面

とても競技がしやすい環境でした。特にホテルでの生活面において、食事は異国での慣れない食べ物はあったものの質や量において不足することは少なく良好で選手たちが体調不良を訴えることはありませんでした。

移動面、通訳においても何一つとして困るようなことはありませんでした。

その他

競技日程において、1日1試合となっておりますが…競技特性上物足りない部分がありますので、毎日4チームリーグを行うなどでも良いかなと思います。

今回、コートが空いている時に韓国と練習マッチを行いました。中国の選手もやりたそうにしていたので一緒に交流しました。

ですが、やはり競技者としては強豪である韓国と沢山試合をしたいと感じるものの、交流ということで否応なしでも競技をするように仕向けていくのも良いのかなと感じます。

選手たちはせっかく海外に来て本番が1日1試合というのは勿体無く感じているのではと思います。3日間の中に 団体戦・個人戦(ミックスダブルス、男女別ダブルス・、男女別シングルス)というように、毎日分けるのも良いのではないかと思います。

個人戦をやっても十分に終わる人数だと思いますので、是非とも検討いただければ幸いです。

準備も含め、これだけの人数を動かすことの苦労は計り知れません。日本スポーツ協会の皆様や中国、韓国の関係各位に深く感謝申し上げます。

女子

監督：高橋 茂

総括

今回の遠征を通して、選手自身が「心を動かす瞬間」にたくさん出会いました。

代表選手たちは、不安と緊張の中で、それぞれが自分の限界に立ち向かいました。初めて海外遠征を経験する生徒も半数以上おり、慣れない環境に最初は戸惑いもありました。しかし、彼女たちが見せたのは、まさに

「しなやかな変化」でした。予想外の出来事に翻弄されるのではなく、それを受け止めて自分の力に変えていく姿勢が随所に見られました。一つひとつの瞬間が、選手の成長の証だったと思います。それぞれが得た「心を動かされた経験」と「しなやかな変化」を、今後の競技人生にいかしてほしいと願っています。

競技面

今大会を迎えるにあたり、「シングルスでも勝ち、完全勝利」をテーマに掲げて準備を重ねてきました。

事前のオンラインミーティングから初めて組むペアとの意見交換を行い、指導者も交えて戦略を確認しました。高校生女子選手の可能性を広げるため、ダブルフォワードにも果敢に挑戦しました。直前合宿ではサービスレシーブの精度が大きな武器となることを確認しました。そのため「サービスレシーブで圧倒する」という合言葉がチーム内に浸透していきました。

初日の中国戦ではその成果が発揮され、手応えをつかんだまま韓国戦に臨むことができました。緊張感と遠慮が入り混じる中、隣のコートで男子代表が全力で戦う姿が女子選手たちを奮い立たせ、流れを呼び込みました。

昨年のシングルスでは2連敗を喫しましたが、その悔しさを胸に合宿では徹底的にシングルス練習を積み重ね、ついに「完勝」という形で努力を結実させました。その瞬間、コートに立つ選手だけでなく、ベンチや応援席にいた全員が声をあげ、チーム全体で勝利を分かち合うことができました。

生活面

異国での生活は、選手にとって大きな試練でもありました。慣れない食事に苦戦する場面もありましたが、トレーナーが持参したふりかけや味噌汁を分け合いながら工夫して乗り越えました。

試合後の夕食時には選手同士が集まり、反省や励ましを言葉にする姿が見られました。その輪の中で笑い合いながら次の試合への決意を語る選手もあり、絆が深まっていくのを感じました。

さらに、遠征期間中に誕生日を迎えた選手がいて、食堂で歌を贈る場面がありました。他競技の選手たちとも一緒にお祝いをし、競技を越えた仲間意識だけではな



試合中の日本女子ペア

く、日本代表としての一体感も強まった瞬間でした。

謝辞

韓国や中国の選手たちと自主的に練習マッチを行った際には、互いに本気でぶつかり合いながらも、試合後には笑顔で言葉を交わす姿がありました。その瞬間、勝敗を超えた交流が生まれ、国境を越えた友情が芽生えていきました。海外という特別な舞台だからこそ感じられる「スポーツの力」を実感できた出来事でした。

このような貴重な経験を可能にしてくださった日本スポーツ協会、そして、開催国の皆様、さらには支えてくださったすべての関係者の方々に、心から感謝申し上げます。



韓国チーム（左のチーム）と交流する日本女子チーム

出場選手の感想

植田 璃音 (高田商業)

昨年に続いて、このような国際交流の場を設けていただいたことをとても嬉しく思います。今回で国際大会への出場は3回目でしたが、1、2回目とも違う新しい発見や技術の習得をすることができました。

自分は昨年この大会で韓国の選手と試合をした際に完全に自分の上をいくプレーをされて負けてしまいました。自分が持っているセオリーは韓国人選手には通用しないんだと強く感じました。その経験を活かし、今回は去年とは戦術や戦略を大きく変え、「守りのスタイル」から「攻めのスタイル」にシフトチェンジして臨みました。結果的に狙っていた韓国戦でのシングルスで勝利することができ、大きな自信となりました。

しかし、昨年同様に今年も韓国人選手と力強さの面で差を感じました。特に、韓国人選手は上からのサービスとバックハンドが力強く、クレーコートで足元が滑り耐えるのが難しいなか、引かず強く厚く打ち続けられる韓国選手には本当に感心の気持ちでいっぱいです。

そして、最終日にはその韓国式バックを韓国チームの監督から教えていただくことができました。日本人のバックハンドとは大きく異なり、力を込めなくても力強いバックハンドが打てる感覚を体感しました。この

バックを習得できるように日本に帰ってからたくさん練習していきたいです。

また、交流もたくさんの場面ですることができました。多くのコミュニケーションのなかで、スポーツは言葉が通じないという障壁を簡単になくし、思いを通じ合わせてくれるものだということを実感しました。スポーツは世界の中で唯一人々が平等の中で争うことのできる戦争です。限界のない、争いに終わりのないこの文化を、国際交流を通じてより一層尊重するべきだと感じました。



韓国チーム（黒いウェア）と肩を組む日本男子チーム

竹田 羽花 (昇陽高校)

この度は日・韓・中ジュニア交流競技大会に出場させて頂きありがとうございます。また、ご指導頂いた先生方、支えてくださった方、審判、運営、大会に携わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。

私は国際大会に3回も出場させて頂けると思いもしていなくて嬉しく、出場させていただくからには楽しく全力で昨年とは違う姿をという気持ちで臨みました。

韓国戦でのシングルスでは、昨年の日・韓・中で日本が二本負けた中の一人の選手でした。私自身あまりシングルスが得意ではなく、昨年負けてしまっている中で「どのようにしたら対等に戦うことができ勝利することができるのか？ また、相手のプレーから自分にはない戦い方や発想を取り入れたい」ということを考えました。

はじめは、相手の鋭いバックハンドのボールや長さのあるボールなどに対応できず相手のペースになってしまっていたが、ファーストサービスの確率が上がったことで相手が攻めにくくなりミスも増え、私のペースに持っていくことができました。また、高さのあるボールやカットをうまく混ぜられたことで結果として勝利に繋がることができました。

大会を通して、言葉や国が異なっても一生懸命に伝えようとする姿に人の素晴らしさや温かさを感じました。こうした国際大会を通じて得られる経験や仲間とのつながりを大切にしたいと思いました。また、来年も出場することができるよう、このような経験からの課題に真剣に向き合い取り組み成長していきたいと思っています。

第33回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会

男 子				8月25日 (月)	女 子			
試合	日本	⑤ — 0	中国		試合	日本	⑤ — 0	中国
ダブルス	植田・南	⑤ — 0	YANG/ZHOCKE		ダブルス	中谷 / 竹田	⑤ — 0	LI/CHEN
シングルス	福田	④ — 2	ZHANG		シングルス	西村	④ — 0	ZHANG
ダブルス	竹内・木本	⑤ — 1	FANG/IEYI		ダブルス	山口 / 西村	⑤ — 4	ZHANG
シングルス	南	④ — 2	LIYAAN		シングルス	山口	⑤ — 4	HE
ダブルス	福田・塚本	⑤ — 3	LIYAAN/ZHANG		ダブルス	中山 / 起田	⑤ — 2	HELYU/AVOZHEN

男 子				8月26日 (火)	女 子			
試合	日本	③ — 2	韓国		試合	日本	⑤ — 0	韓国
ダブルス	植田 / 南	⑤ — 1	キムテミン / チョ・ヨンチョン		ダブルス	中谷 / 竹田	⑤ — 2	チョ・ドギョン / ス・ユン
シングルス	塚本	3 — ④	キム・ガンヒョン		シングルス	竹田	④ — 3	イム・スヨン
ダブルス	福田 / 木本	⑤ — 1	キム・ガンヒョン / ユン・サラン		ダブルス	西村 / 山口	⑤ — 3	イム・スヨン / キム・ナヒョン
シングルス	植田	④ — 2	キム・セボム		シングルス	中谷	④ — 0	チョ・ドギョン
ダブルス	塚本・竹内	2 — ⑤	キム・セボム / イ・スファン		ダブルス	中山 / 起田	⑤ — 2	キム・テヨン / パン・ナリ

※ 8月 27 日に行われた包頭市との対戦は男女とも日本が5-0で完勝

アカエム140年の ルーセント

公認球
最安値!!

LUCENT

2025年10月1日より

ボール値下げでソフトテニス応援続行します!

東日本営業部長
星

ソフトテニユーザー応援

西日本営業部長
濱口

物価高でも、ボール値下げで応援続行!
あえて値下げに踏み切りました。
気軽にボールを手にして
ソフトテニスをもっと楽しんでください!

アカエムボール (公認球)
(ホワイト・イエロー・ピーチレッド)

メーカー希望小売価格

改定前: 1ダース

~~5,400円~~
(税込5,940円)

改定後: 1ダース

4,680円
(税込5,148円)

アカエムプラクティス (練習球)
(ホワイト・イエロー・ピーチレッド)

メーカー希望小売価格

改定前: 1ダース

~~4,560円~~
(税込5,016円)

改定後: 1ダース

3,840円
(税込4,224円)

実際の販売価格は販売店にご確認ください。

全日本アンダー17男女強化合宿

(日・韓・中ジュニア交流競技大会直前合宿)

報告

■ 8月21日・22日

東京都・大田区 六郷橋緑地テニスコート

男子

監督：松口 友也、
コーチ：塩崎 弘騎、トレーナー：北村 壘

合宿のテーマ

- ・日・韓・中ジュニア交流競技大会に向けた意識確認と強化
- ・クレイコートへの対応策
- ・ペアリングと戦術の確認

合宿の内容

日・韓・中ジュニア交流競技大会に向けてのクレイコート対応とペアリング・戦術の確認。

- ウォーミングアップ・軽トレーニング
- サービスからのラリー
- 後衛練習/ワイドスタンスによる強打への対応ドリル練習
※短時間で心拍数を上げるよう心がける。
- 前衛の連続ポイント練習
- 練習マッチ(シングルス・ダブルス)
- 様々な変化への対応する思考作りのミーティング

合宿の成果

- ・代表選手として行く自覚と責任についてミーティングを行い、再確認を図ることができた。
- ・クレイコートという特性を活かした先手の取れる戦術の習得。
- ・様々なペアリングでも戦えるマインドセット。

最後に

今回は急遽クレイコートということが判明し、コート予約などで清明学園関係者をはじめ、東京都ソフトテニス関係者の皆様に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

女子

監督：高橋 茂、
コーチ：尾上 胡桃、トレーナー：高川 亜紀

合宿の目的

- ・日・韓・中ジュニア交流競技大会にて全戦全勝する為のチーム作り
- ・ペアリングの構築
- ・クレイコートに対するシングルス強化

合宿の成果

今合宿は、インターハイ後、国民スポーツ大会のブロック予選が続く中での調整となりました。

全員が所属の違う選手で、ペア間で合わせるのも難しい状況の中でしたが、2日間でできる限り戦術を合わせることができました。

シングルスにおける練習では、本番がクレイコートなので、日頃から使い慣れたサーフェスではありませんでしたが、それぞれの個性に合わせた戦術を話し合い、本番に向けたい練習ができたと思います。

今後必要な練習

- ・サービスの強化。
- ・全コートのカバーするフットワーク。
- ・球種が一定にならないようにする。
- ・ツイストを有効にするための深さのあるボールと連続プレー。
- ・サービス後のカバー。

次回に向けて

- ・日本代表になる為の人間力の育成。

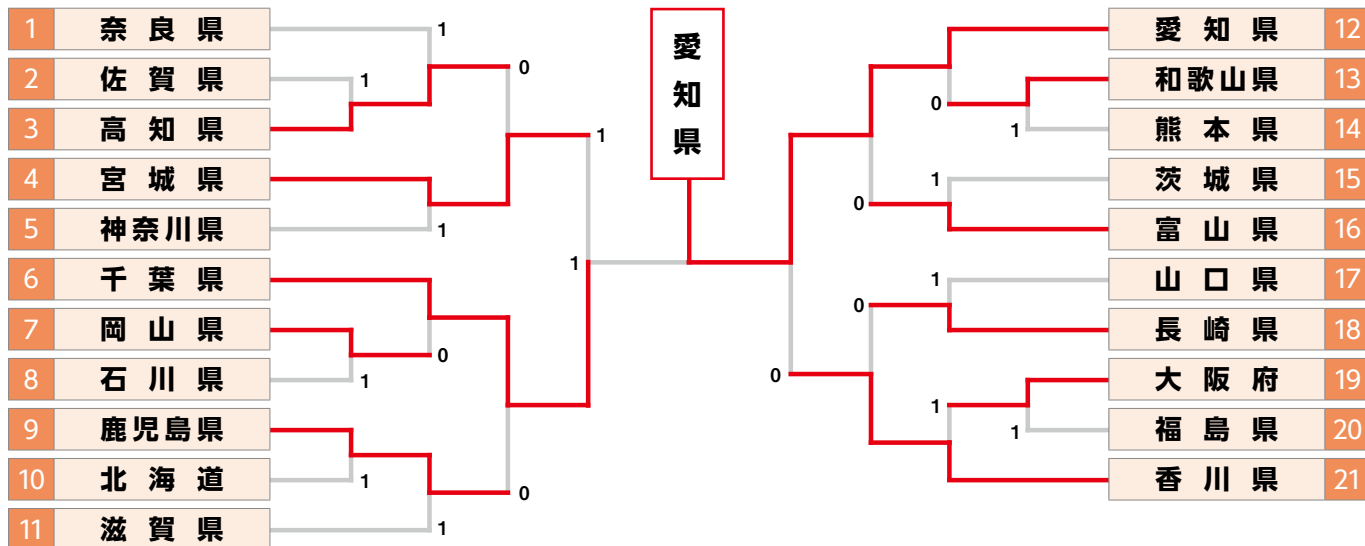
第79回 国民スポーツ大会
ソフトテニス競技
～わたSHIGA輝く国スポ2025～

滋賀県ソフトテニス連盟

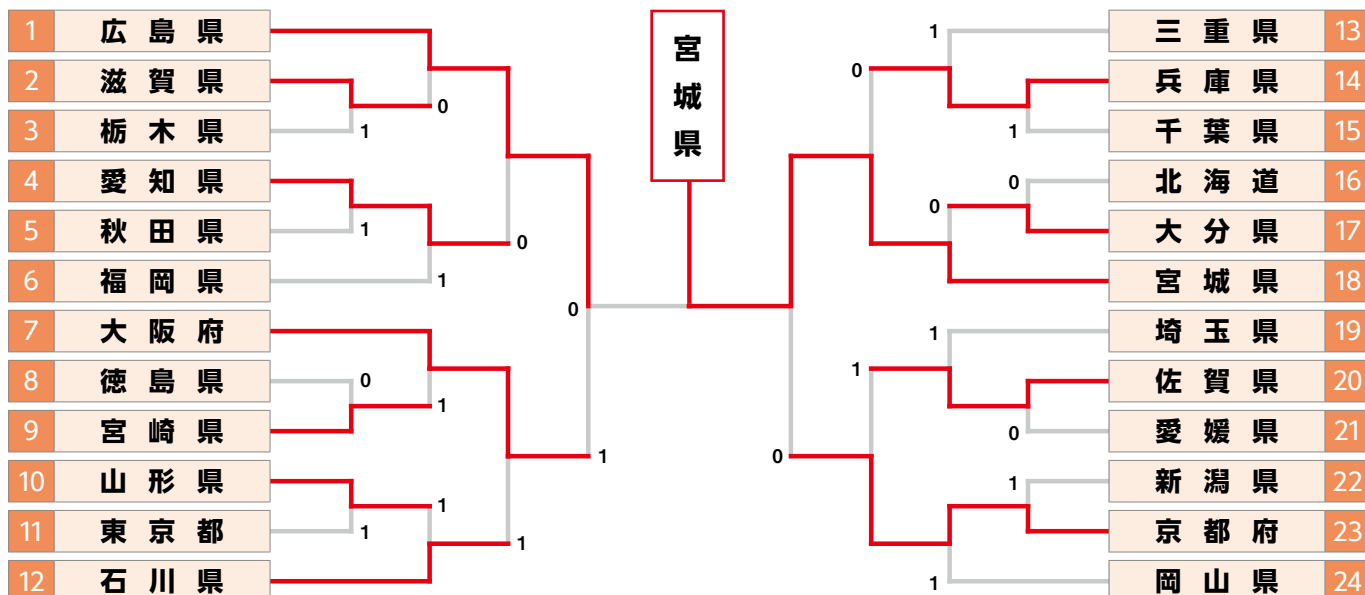
**成年男子は広島県が優勝
成年女子は京都府が 18 年ぶりの制覇**

昨年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わった今大会。成年男子は広島県が優勝、成年女子は京都府が18年ぶりの制覇、少年男子と少年女子は愛知県と宮城県がそれぞれ初優勝を飾りました。詳細は以下の通りです。

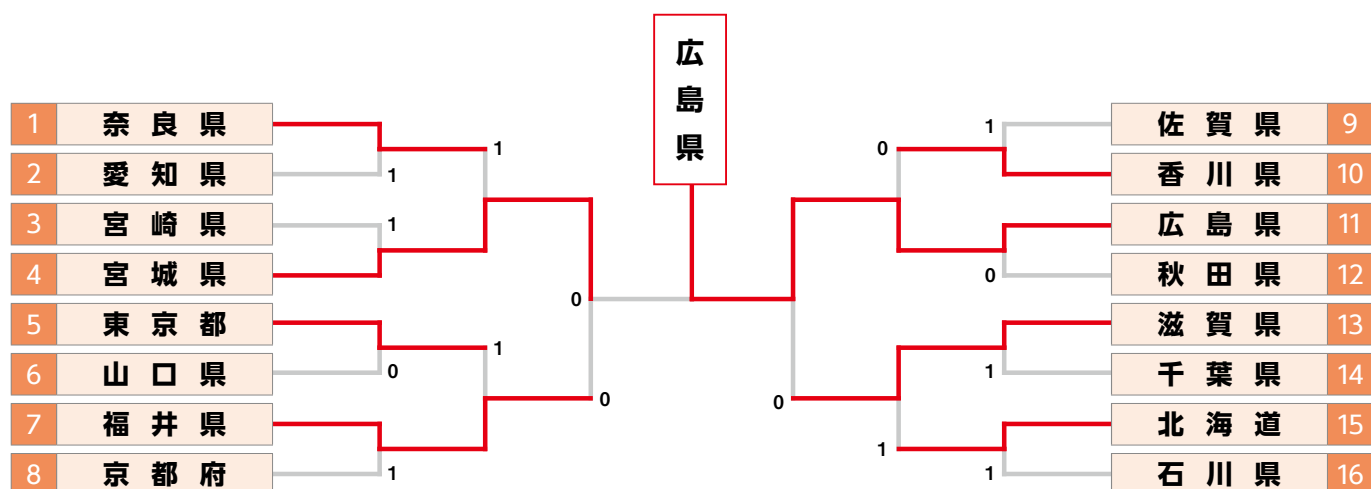
少年男子



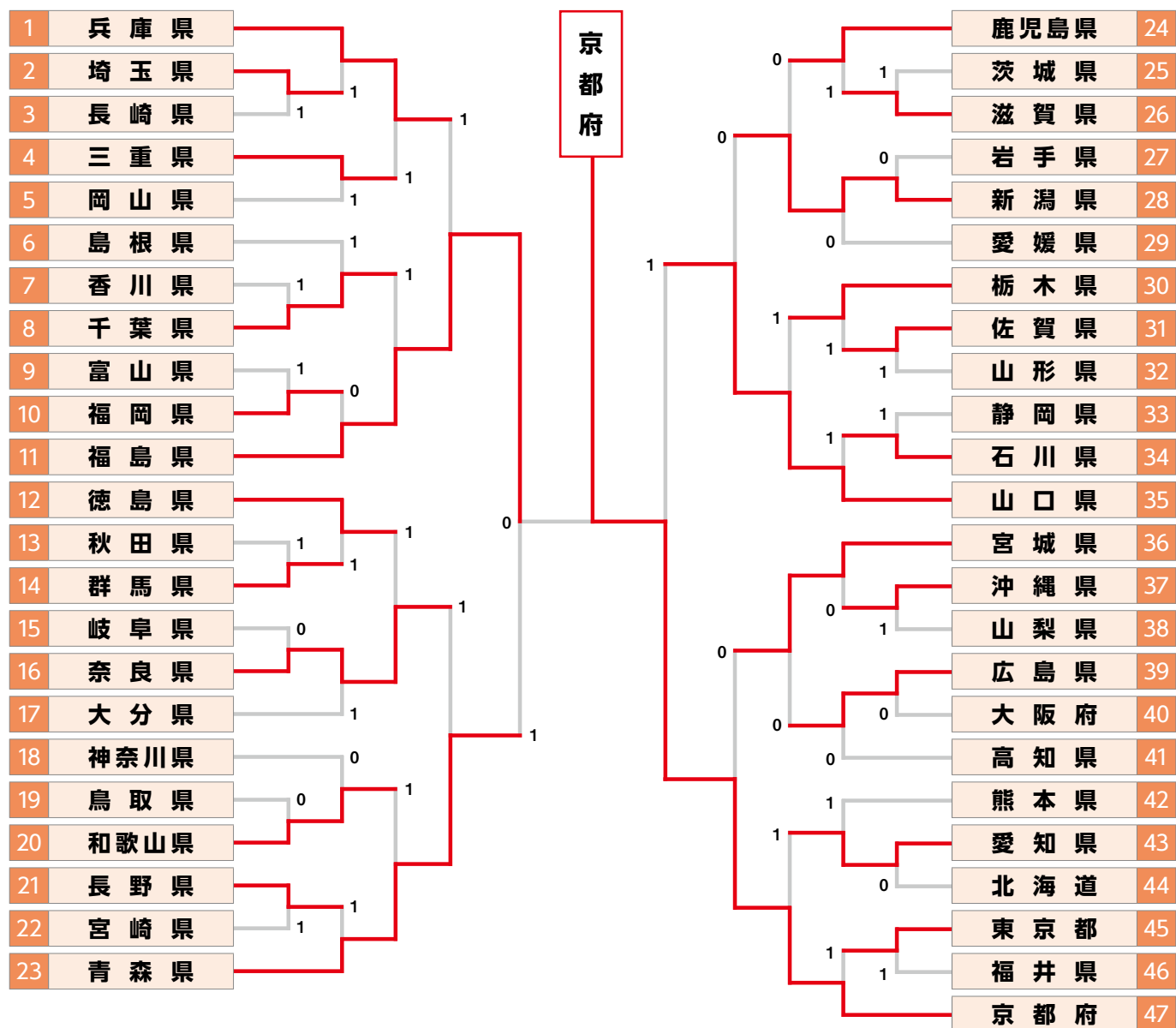
少年女子



成年男子



成年女子



少年男子
第1位～第4位



第1位 愛知県



第2位 千葉県



第3位 宮城県



第4位 香川県

少年女子
第1位～第4位



第1位 宮城県



第2位 広島県



第3位 京都府



第4位 大阪府

成年男子
第1位～第4位



第1位 広島県



第2位 宮城県



第3位 福井県



第4位 滋賀県

成年女子
第1位～第4位



第1位 京都府



第2位 福島県



第3位 青森県



第4位 山口県



会場の長浜城テニスガーデン



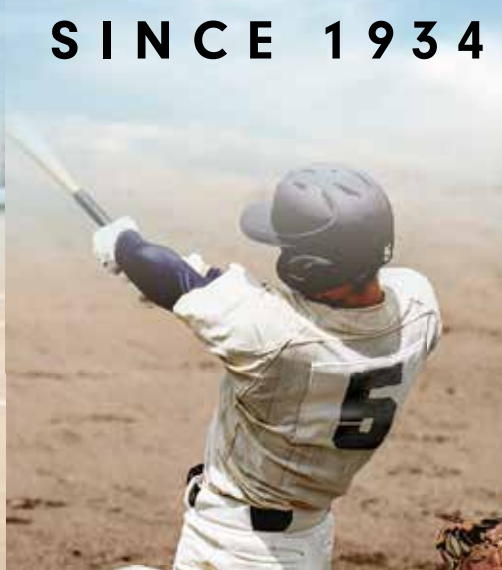
成年女子の部で18年ぶりに優勝を飾った京都府



サーフェスはガーネットサンド入り人工芝コート

日本で生まれたボールを未来へつなぐ。

SINCE 1934



Soft-tennis ball
ケンコーソフトテニスボール
(公財)日本ソフトテニス連盟公認球



Baseball
ケンコーボール
(公財)全日本軟式野球連盟公認球



Softball
ケンコーソフトボール
(公財)日本ソフトボール協会検定球

**KE/CO
BALL**

ナガセケンコー株式会社
www.nagase-kenko.com





果物のある生活を。



青木フルーツ株式会社

フルーツバー事業

185 店舗 北海道 7店舗 東北エリア 19店舗 関東エリア 61店舗
北陸・甲信越エリア 14 店舗 東海エリア 31 店舗 近畿エリア 29 店舗
中国エリア 7店舗 四国エリア 5 店舗 九州・沖縄エリア 12 店舗



フルーツタルト&カフェ事業

15 店舗 福島県 8店舗 宮城県 1店舗 茨城県 1店舗
埼玉県 1店舗 東京都 3店舗 神奈川県 1店舗



フルーツジュース&デリ事業

1 店舗 東京都 1店舗



FRUITS IN LIFE
by fruits shop AOKI since 1924

フルーツショップ事業

7 店舗 福島県 4店舗 宮城県 1店舗 茨城県 1店舗
東京都 1店舗



日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会

■9月20日・21日 愛媛県・今治市 今治市営スポーツパークテニスコート

会場の今治市営スポーツパークテニスコート

愛媛県ソフトテニス連盟

奈良県が決勝で北海道を破って優勝を飾る

競技志向の高いシニア世代を対象にした総合スポーツ大会である今大会。今年は奈良県が北海道を破って優勝。昨年優勝の福岡県は1位トーナメントの初戦で敗れました。詳細は以下の通りです。

予選リーグ

A	チーム名	福岡県	韓国B	高知県	富山県	勝率	順位
1	福岡県		⑤	⑤	⑤	3/3	1
2	韓国B	0		0	1	0/3	4
3	高知県	0	⑤		③	2/3	2
4	富山県	0	④	2		1/3	3

B	チーム名	北海道	神奈川県	京都府	勝率	順位
5	北海道		③	④	2/2	1
6	神奈川県	2		2	0/2	3
7	京都府	1	③		1/2	2

C	チーム名	愛媛県A	新潟県	岡山県	勝率	順位
8	愛媛県A		④	2	1/2	2
9	新潟県	1		1	0/2	3
10	岡山県	③	④		2/2	1

D	チーム名	千葉県	佐賀県	広島県	勝率	順位
11	千葉県		④	2	1/2	2
12	佐賀県	1		2	0/2	3
13	広島県	③	③		2/2	1

E	チーム名	岩手県	徳島県	兵庫県	勝率	順位
14	岩手県		1	2	0/2	3
15	徳島県	④		④	2/2	1
16	兵庫県	③	1		1/2	2

F	チーム名	香川県	和歌山県	韓国A	勝率	順位
17	香川県		③	⑤	2/2	1
18	和歌山県	2		⑤	1/2	2
19	韓国A	0	0		0/2	3

G	チーム名	東京都	福井県	長崎県	勝率	順位
20	東京都		⑤	③	2/2	1
21	福井県	0		1	0/2	3
22	長崎県	2	④		1/2	2

H	チーム名	奈良県	茨城県	島根県	勝率	順位
23	奈良県		⑤	④	2/2	1
24	茨城県	0		1	0/2	3
25	島根県	1	④		1/2	2

I	チーム名	愛知県	愛媛県B	石川県	勝率	順位
26	愛知県		⑤	④	2/2	1
27	愛媛県B	0		④	1/2	2
28	石川県	1	1		0/2	3

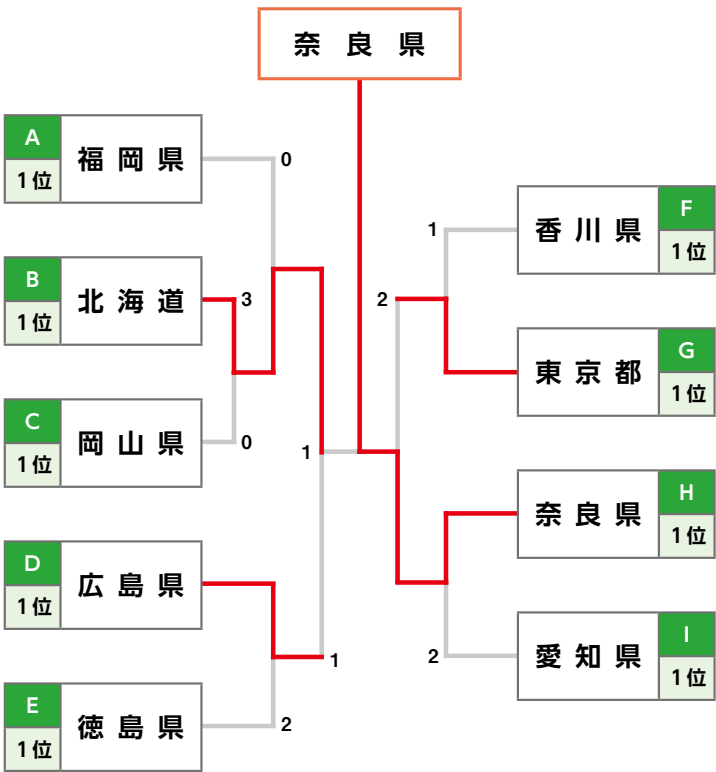


韓国チーム



開会式

1位トーナメント



優勝 奈良県



準優勝
北海道



第3位 東京都



第3位 広島県

2位トーナメント



3位・4位トーナメント



全日本レディースソフトテニス決勝大会 シニアの部

■10月16日・17日

大阪府・大阪市 マリンテニスパーク・北村

日本レディースソフトテニス連盟

昨年ベスト4で地元の大阪 A が優勝！

昨年の決勝トーナメントでベスト4の地元大阪が、昨年のチャンピオンである愛知と決勝で対戦。接戦の末に、大阪が③－2で愛知を下して優勝を飾りました。

予選リーグ

Aブロック		1	2	3	4	勝率	順位
1	岡山		③	0	④	2/3	2
2	熊本	2		0	⑤	1/3	3
3	愛知	⑤	⑤		④	3/3	1
4	青森	1	0	1		0/3	4

Bブロック		5	6	7	8	勝率	順位
5	山梨		0	0	2	0/3	4
6	愛媛	⑤		③	④	3/3	1
7	福島	⑤	2		④	2/3	2
8	石川	③	1	1		1/3	3

Cブロック		9	10	11	12	勝率	順位
9	兵庫		⑤	④	③	3/3	1
10	静岡	0		④	③	2/3	2
11	福井	1	1		1	0/3	4
12	京都	2	2	④		1/3	3

Dブロック		13	14	15	16	勝率	順位
13	和歌山		0	2	2	0/3	4
14	栃木	⑤		③	③	3/3	1
15	大阪 B	③	2		④	2/3	2
16	神奈川	③	2	1		1/3	3

Eブロック		17	18	19	20	勝率	順位
17	岐阜		④	1	0	1/3	3
18	宮崎	1		1	0	0/3	4
19	奈良	④	④		2	2/3	2
20	岩手	⑤	⑤	③		3/3	1

Fブロック		21	22	23	24	勝率	順位
21	北海道		④	③	2	2/3	2
22	山形	1		2	1	0/3	4
23	徳島	2	③		1	1/3	3
24	東京	③	④	④		3/3	1

Gブロック		25	26	27	28	勝率	G差	順位
25	香川		1	0	0	0/3		4
26	広島	④		2	③	2/3	+2	2
27	鹿児島	⑤	③		2	2/3	+3	1
28	島根	⑤	2	③		2/3	-5	3

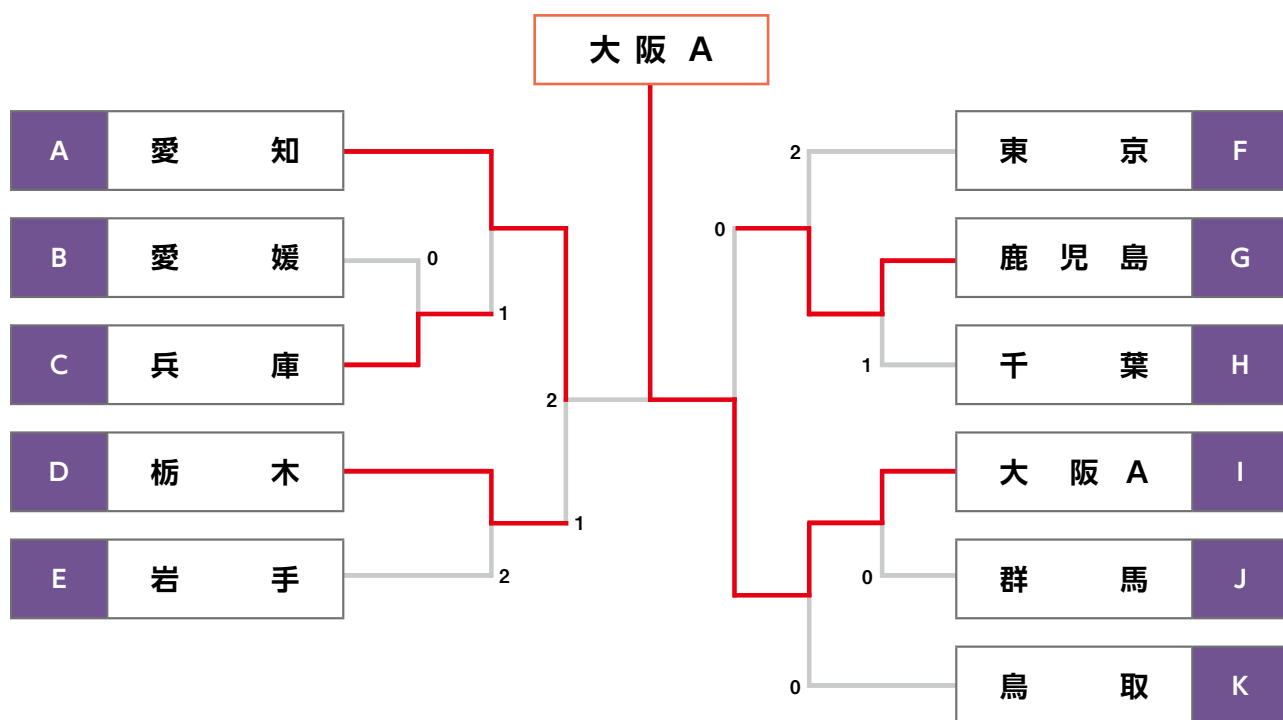
Hブロック		29	30	31	32	勝率	順位
29	大分		1	④	2	1/3	3
30	茨城	④		⑤	2	2/3	2
31	長崎	1	0		0	0/3	4
32	千葉	③	③	⑤		3/3	1

Iブロック		33	34	35	36	勝率	順位
33	福岡		0	④	⑤	2/3	2
34	大阪 A	⑤		⑤	⑤	3/3	1
35	佐賀	1	0		④	1/3	3
36	沖縄	0	0	1		0/3	4

Jブロック		37	38	39	40	勝率	順位
37	埼玉		1	2	④	1/3	3
38	長野	④		2	④	2/3	2
39	群馬	③	③		④	3/3	1
40	新潟	1	1	1		0/3	4

Kブロック		41	42	43	44	勝率	順位
41	山口		1	③	2	1/3	3
42	宮城	④		⑤	2	2/3	2
43	滋賀	2	0		0	0/3	4
44	鳥取	③	③	⑤		3/3	1

決勝トーナメント



優勝 大阪 A



準優勝 愛知



第3位 鹿児島



第3位 栃木

第37回

ねんりんピック2025

岐阜県ソフトテニス連盟

■10月18日～20日

岐阜県・瑞穂市 生津スポーツ広場テニスコート、
穂積北中学校、大垣市 西公園庭球場



小学生からの応援のぼり



健康づくりコーナー



おもてなしコーナー

1 位グループはチーム Aichi が優勝を飾る

1988 年から開かれている「全国健康福祉祭」。ねんりんピックの愛称で親しまれている今大会は、60 歳以上の高齢者を中心とする、参加人数のべ 40 万人のビッグイベント。ソフトテニス競技は、岐阜県内の 3 か所のテニスコートで行われました。なお、1 位グループはスマイル愛知が優勝を飾りました。

予選リーグ

A	1	2	3	4	勝率	順位
1 スマイル愛知		③	③	③	3/3	1
2 祇園太鼓	0		1	②	1/3	3
3 おたけ京都市チーム	0	②		③	2/3	2
4 新湊市	0	1	0		0/3	4

B	1	2	3	4	勝率	順位
1 SAGA 葉隠		②	1	1	1/3	3
2 神奈川(返子・横須賀)チーム三浦半島	1		1	1	0/3	4
3 岐阜・美濃の国	②	②		②	3/3	1
4 福の島	②	②	1		2/3	2

C	1	2	3	4	勝率	順位
1 恋の街札幌		0	②	②	2/3	2
2 熊本城	③		③	②	3/3	1
3 BE - ef. KOBE	1	0		1	0/3	4
4 ありがとう! 能登	1	1	②		1/3	3

D	1	2	3	4	勝率	順位
1 東京スカイツリー		1	③	③	2/3	2
2 大分めじろん	②		③	②	3/3	1
3 フジッピー 2025	0	0		②	1/3	3
4 絆 いわて	0	1	1		0/3	4

E	1	2	3	4	勝率	差	順位
1 伊達家		②	②	②	3/3		1
2 横浜みなとみらい	1		②	1	1/3	0	3
3 広島もみじ	1	1		③	1/3	+2	2
4 常陸の国	1	②	0		1/3	-2	4

F	1	2	3	4	勝率	順位
1 2025 ふくおか		1	②	②	2/3	2
2 きゅぼらん川口	②		③	②	3/3	1
3 チーム青森	1	0		②	1/3	3
4 和歌山県きいちゃんず	1	1	1		0/3	4

G	1	2	3	4	勝率	順位
1 長寿の郷「長野」		1	0	1	0/3	4
2 チーム美輪湖	②		1	②	2/3	2
3 チーム五平餅	③	②		③	3/3	1
4 ももたろう岡山	②	1	0		1/3	3

H	1	2	3	勝率	順位
1 なしっこ		1	0	0/3	3
2 富士山静岡	②		1	1/3	2
3 チームはやぶさ	③	②		3/3	1

I	1	2	3	4	勝率	順位
1 なごやん		②	③	②	3/3	1
2 チーバくん 2025	1		③	0	1/3	3
3 ジョイフル月山	0	0		0	0/3	4
4 ぎばれ長崎	1	③	③		2/3	2

J	1	2	3	4	勝率	順位
1 新湊県		1	1	③	1/3	3
2 とこわか三重	②		③	③	3/3	1
3 土佐の龍馬六人衆	②	0		②	2/3	2
4 チーム官兵衛	0	0	1		0/3	4

K	1	2	3	4	勝率	順位
1 火の国		③	③	②	3/3	1
2 うどん県香川	0		1	②	1/3	3
3 チーム富富富	0	②		②	2/3	2
4 チームさいたま	1	1	1		0/3	4

L	1	2	3	4	勝率	順位
1 はばたん 2025		③	②	1	2/3	2
2 がんぱ! 群馬	0		0	0	0/3	4
3 都城グリーン	1	③		1	1/3	3
4 ばけばけ島根	②	③	②		3/3	1

M	1	2	3	4	勝率	差	順位
1 チームまほろば		②	③	1	2/3	±0	2
2 V 6 福井	1		③	③	2/3	+2	1
3 かわさきミュートン	0	0		0	0/3		4
4 チーム山口 2025	②	0	③		2/3	-2	3

N	1	2	3	4	勝率	順位
1 東京タワー		③	③	②	3/3	1
2 家康くん	0		0	0	0/3	4
3 しまえなが	0	③		0	1/3	3
4 チームもみじ	1	③	③		2/3	2

O	1	2	3	勝率	順位
1 TEAM ミナモ		③	③	2/3	1
2 伊達武将	0		0	0/3	3
3 丹丹軍団	0	③		1/3	2

1位グループ 優勝～第3位



優勝
スマイル愛知



準優勝
TEAM ミナモ



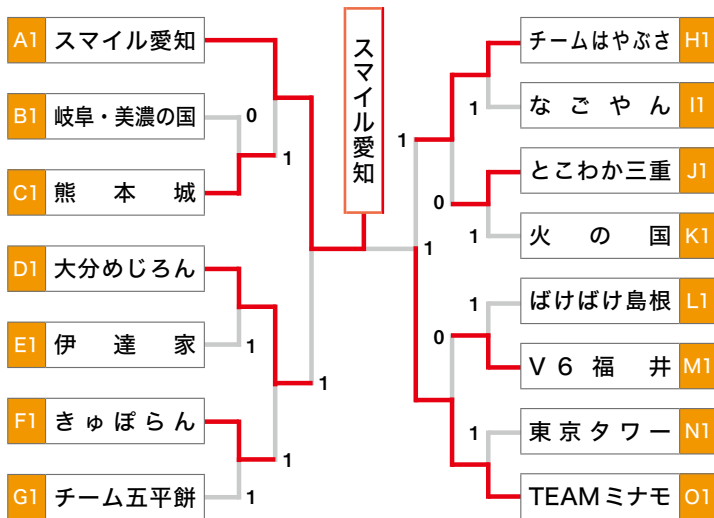
第3位
大分めじろん



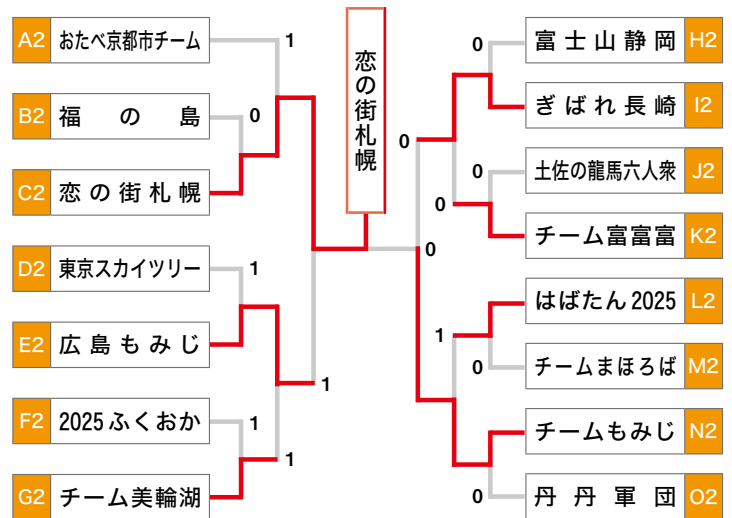
第3位
チームはやぶさ

各グループ別トーナメント

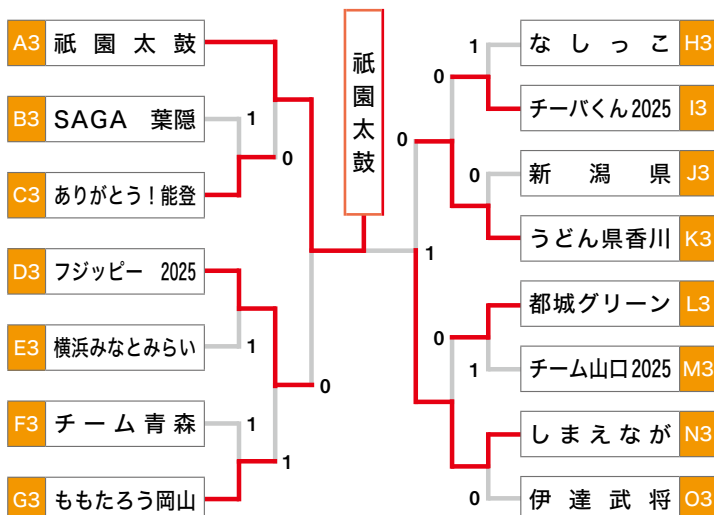
1位グループ



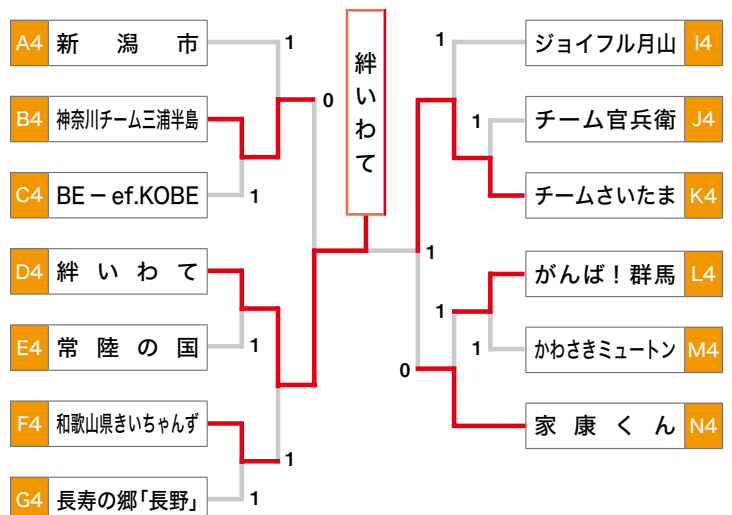
2位グループ



3位グループ



4位グループ



令和6年度

支部功労者・優良団体

紹介

Vol.14 鹿児島県

支部功労者 宮内 悦子 氏

〈受賞の感想〉

この度は、支部功労者として表彰を賜り、関係各位の皆様に心より感謝申し上げます。

夫の仕事の都合で埼玉に移り住み、36年間ソフトテニスに携わってまいりました。その後、定年を迎え鹿児島に帰郷してから約10年が経ちます。この地で役職をお任せいただき、自分にできる範囲で尽力してまいりました。

〈今後の抱負〉

これからも仲間とともに、1日でも長く大会や練習に参加できるよう努力を重ね、ソフトテニスを通じて地域に貢献できるよう励んでいきたいと思っております。



鹿児島県ソフトテニス連盟の推薦理由

中学時代からソフトテニス部に所属し、インターハイにおいて団体優勝および個人3位に入賞するなど、優れた実績を残されております。

現在も選手として精力的に活躍される一方で、九州レディース連盟会長、鹿児島県レディースソフトテニス連盟会長、鹿児島県ソフトテニス連盟常任理事という要職を務められ、鹿児島県および地域社会におけるソフトテニスの発展に多大な貢献をされています。

支部功労者

大園 奈々子 氏

〈受賞の感想〉

この度は、支部功労者という栄誉を賜り、関係者各位の皆様に深く感謝申し上げます。

私がソフトテニスをはじめたのは、小学2年生の時でした。それ以降、社会人になるまで競技としてのソフトテニスを続けてきました。振り返ると、今の私があるのはソフトテニスと出会ったからであり、ソフトテニスを通して逞しい心と体を育ててもらったからだ実感しています。ご指導してくださった方々に感謝します。また、鹿児島県ソフトテニス連盟の役員も務めさせていただき、様々なことを経験させていただいたことに感謝しております。

〈今後の抱負〉

現在は、教員としてソフトテニスを教える立場になりました。私が指導していただいたように、ソフトテニスの楽しさやソフトテニスを通して人間力を高めてもらいたいと日々子どもたちの育成に励んでいきたいと思ひます。

今後も、指導者として役員としてソフトテニスに恩返しするつもりで頑張っていきたいと思ひます。



鹿児島県ソフトテニス連盟の推薦理由

中学校の教員として、部活動の監督を務め、多くの生徒を九州大会や全国大会への出場へと導いております。

また、自らも選手として、鹿児島県の国体選手として入賞を果たし、九州インドアや九州選手権などで優勝するなど、優れた実績を残されています。平成9年度より、鹿児島県ソフトテニス連盟中学部の理事として、本県中学生のソフトテニスの普及および発展に多大な貢献をされています。

優良団体

郡山クラブ

〈受賞の感想〉

この度は、優良団体として表彰させて頂き、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

郡山クラブは、40年程前に中学校のコートをお借りして、同好会から始まりました。今では、幅広い年齢層の方々が毎週日曜日に郡山運動公園に集まり、4面のコートを活用して楽しく活動しています。

〈今後の抱負〉

現在、年に2回行われる鹿児島県ソフトテニス連盟主催の「クラブ対抗」には毎回3チームを出すなど様々な大会に出場しています。また、9月に開催する本チー



ム主催の郡山大会も全員が一丸となり、毎年スムーズに進行することが出来るようになってきました。

これからも健全で明るいチームを目指していきたいと思ひています。

鹿児島県ソフトテニス連盟の推薦理由

全日本シニア、西日本シニア、九州選手権、クラブ対抗など、県内外の大会に積極的に参加され、上位成績を収めるなど優れた活躍をされています。

毎週の練習では、幅広い年齢層のメンバーとの親睦を深め、健康増進に寄与するとともに、技術の向上にも努めておられ、鹿児島県におけるソフトテニス愛好者の増加と技術向上に大きく貢献されています。

北海道

●第55回 北海道高校新人ソフトテニス選手権大会

9月13日・14日 帯広の森テニスコート

【男子ダブルス】138ペア

▽準決勝

酒井 隆杜・坂田 侑希 ④-3 百目木 来杜・松田 快晴
(とわの森三愛) (北海道科学大学)

中川 遥琉・小林 樹 ④-2 森谷 太一・秋山 想太
(とわの森三愛) (北海道科学大学)

▽決勝

酒井 隆杜・坂田 侑希 ④-2 中川 遥琉・小林 樹

【女子ダブルス】135ペア

▽準決勝

嶋野 杏・上原 心音 ④-3 山岸 知代・佐藤 実空
(札幌大谷) (とわの森三愛)

森川 智巴・高木 実怜 ④-3 永井 純海・福山 樹実
(とわの森三愛) (札幌大谷)

▽決勝

嶋野 杏・上原 心音 ④-0 森川 智巴・高木 実怜

【男子シングルス】147名

▽準決勝

五十嵐 奨真 ③-0 松田 快晴
(とわの森三愛) (北海道科学大学)

森谷 太一 ③-1 駒津 太珂
(北海道科学大学) (旭川東)

▽決勝

五十嵐 奨真 ③-2 森谷 太一
(とわの森三愛) (北海道科学大学)

【女子シングルス】136名

▽準決勝

永井 純海 ③-1 芹澤 鈴音
(札幌大谷) (札幌大谷)

嶋野 杏 ③-2 森川 智巴
(札幌大谷) (とわの森三愛)

▽決勝

永井 純海 ③-0 嶋野 杏
(札幌大谷) (札幌大谷)

関東 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨

茨城県

●第75回 茨城県下ソフトテニス土浦大会

8月10日 霞ヶ浦総合公園(水郷)コート

【男子】

- 1位：松本・黒田(土浦クラブ・牛久クラブ)
- 2位：栗田・栗田(PPC)
- 3位：井坂・菊池(土浦クラブ・教員クラブ)
- 3位：小室・阿部(T-bonds・MILD)

【女子】

- 1位：櫻井・高橋(夢ひたクラブ)
- 2位：酒井・清水(夢ひたクラブ)
- 3位：櫻井・宗方(行方STC)
- 3位：三橋・前野(霞ヶ浦)

【シニア45】

- 1位：渡辺・鎌形(ファイヤーク)
- 2位：八木澤・紺野(日立はくあ・流山クラブ)
- 3位：鈴木・福地(日立はくあ)
- 3位：伊佐山・石川(神栖クラブ・日立はくあ)

【シニア65】

- 1位：阿部・海老原(牛久クラブ)
- 2位：上田・川和田(勝田クラブ・水戸クラブ)
- 3位：篠崎・岡野(染野ソフトテニスクラブ)
- 3位：大関・荒木(友部クラブ・水戸クラブ)

●令和7年度茨城県スポーツ少年団スポーツ大会ソフトテニス競技

8月30日・31日 水戸市総合運動公園テニスコート

【中学男子1位決勝トーナメント】

- 1位：染野 大哉・藤本 真央(豊浦ソフトテニススポーツ少年団)
- 2位：橋本 朝陽・山岡 大珂(土浦STC)
- 3位：豊田 煌明・豊田 蒼明(豊浦ソフトテニススポーツ少年団)
- 3位：荒川 颯楽・小野里 心
(古河ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団)

【中学男子2位トーナメント】

- 1位：高橋 樹・原 琉聖(土浦STC)
- 2位：佐藤 怜生・鷺尾 匠翔
(古河ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団)
- 3位：高野 真己・春日部 秀龍(みどりのSTC)
- 3位：大淵 航・池田 遥登(学園の森ソフトテニスクラブ)

【中学男子3位トーナメント】

- 1位：大井 聡太・野仲 アサヒ(学園の森ソフトテニスクラブ)
- 2位：大津 光輝・碓 大雅(土浦STC)
- 3位：滝口 璃空・山中 陽斗(学園の森ソフトテニスクラブ)
- 3位：川崎 蒼慧・三浦 真一(美浦ジュニアソフトテニススポーツ少年団)

【中学女子1位決勝トーナメント】

- 1位：荒川 琴美・林 楓恋(土浦STC)
- 2位：草深 歩由奈・高野 ほなみ(土浦STC)
- 3位：匹田 佳桜・石井 愛夏花(豊浦ソフトテニススポーツ少年団)
- 3位：小松崎 麻友・小松崎 菜央(土浦STC)

【中学女子2位トーナメント】

- 1位：松尾 美玖・狩谷 芽依
(土浦ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団)
- 2位：久保田 紗葵・蜂谷 姫花(霞ヶ浦ソフトテニスクラブスポーツ少年団)
- 3位：羽生 愛唯・楠 美優
(行方市麻生ジュニアテニスクラブスポーツ少年団)
- 3位：藤崎 詩音・邊田 美月
(行方市麻生ジュニアテニスクラブスポーツ少年団)

【中学女子3位トーナメント】

- 1位：西谷 乃愛・上園 凜(水戸市ソフトテニススポーツ少年団)
- 2位：神長 心結・関戸 柚音
(大子町ソフトテニススポーツ少年団・行方市麻生ジュニア
テニスクラブスポーツ少年団)

3位：酒井 侑愛・日向寺 彩夢 (旭ジュニアソフトテニススポーツ少年団)

3位：杉山 加奈・久保田 莉桜 (下妻クラブ Jr. スポーツ少年団)

【小学男子1位決勝トーナメント】

1位：山田 蒼介・金森 蓮 (神栖ソフトテニススポーツ少年団)

2位：中村 匠・中崎 翔

(美浦ジュニアソフトテニススポーツ少年団・霞ヶ浦ソフト
テニスクラブスポーツ少年団)

3位：大川 彰斗・松井 敬太 (潮来ソフトテニススポーツ少年団)

3位：安藤 怜亜・上野 総司郎 (古河STCスポーツ少年団)

【小学男子2位トーナメント】

1位：奥村 蒼士・飯田 大和 (潮来ソフトテニススポーツ少年団)

2位：細金 楓・田中 結生 (豊浦ソフトテニススポーツ少年団)

3位：大塚 亮吾・秋葉 遼真 (潮来ソフトテニススポーツ少年団)

3位：高橋 秀汰・近藤 駿也 (みどりのSTC)

【小学男子3位トーナメント】

1位：穴戸 晴仁・大貫 涼馬 (豊浦ソフトテニススポーツ少年団)

2位：大峰 廉都・野口 悠永

(土浦ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団)

3位：甲高 丞・大山 慶吾

(常陸太田ジュニアソフトテニススポーツ少年団・みどりのSTC)

3位：佐藤 蓮・皆藤 空龍

(土浦ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団)

【小学女子1位決勝トーナメント】

1位：齊藤 結衣・齊藤 芽衣 (下妻JSTクラブスポーツ少年団)

2位：小田部 紗奈・山口 優莉 (下妻クラブ Jr. スポーツ少年団)

3位：渡部 結琉・永田 みなみ

(龍ヶ崎ドラゴンソフトテニススポーツ少年団)

3位：見崎 えま・小寺 美桜里

(霞ヶ浦ソフトテニスクラブスポーツ少年団・常陸太田ジュ
ニアソフトテニススポーツ少年団)

【小学女子2位トーナメント】

1位：佐川 茜・神長 心愛 (大子町ソフトテニススポーツ少年団)

2位：楠 凜菜・小堀 望愛

(行方市麻生ジュニアテニスクラブスポーツ少年団)

3位：杉浦 莉子・薩田 伶未 (水戸市ソフトテニススポーツ少年団)

3位：廣木 心陽・澤井 琴乃 (水戸市ソフトテニススポーツ少年団)

【小学女子3位トーナメント】

1位：松本 麗桜・石井 桃流星

(龍ヶ崎ドラゴンソフトテニススポーツ少年団・豊浦ソフト

テニススポーツ少年団)

2位：大原 ひなた・松下 芽愛

(行方市麻生ジュニアテニスクラブスポーツ少年団)

3位：大西 礼桜・滝 咲良 (豊浦ソフトテニススポーツ少年団)

3位：染谷 華・玄長 奈々佳 (古河STCスポーツ少年団)

【低学男子1位決勝トーナメント】

1位：宇都木 晟李・中島 悠輝 (古河北利根ジュニアソフトテニスクラブ)

2位：金森 葵・鈴木 鈴文 (神栖ソフトテニススポーツ少年団)

3位：根本 雄大・松本 大知

(豊浦ソフトテニススポーツ少年団・みらいジュニアスポーツ少年団)

3位：黒川 蒼真・早乙女 颯 (下妻クラブ Jr. スポーツ少年団)

【低学男子2位トーナメント】

1位：田村 大空・岡野 稜

(みどりのSTC・常陸太田ジュニアソフトテニススポーツ少年団)

2位：藤岡 想・白川 蒼大

(美浦ジュニアソフトテニススポーツ少年団・古河STCス
ポーツ少年団)

3位：立石 憬・菅谷 蓮斗

(霞ヶ浦ソフトテニスクラブスポーツ少年団)

3位：関根 燈也・小松崎 蓮 (下妻砂沼クラブ Jr. スポーツ少年団)

【低学男子3位トーナメント】

1位：藤原 孝之・小沼 良輔 (大洋ソフトテニススポーツ少年団)

2位：上野 政武郎・児玉 湊二郎 (古河STCスポーツ少年団)

3位：山田 真之介・大峰 結翔

(神栖ソフトテニススポーツ少年団・土浦ジュニアソフトテ
ニスクラブスポーツ少年団)

3位：小林 悠大・野口 愛永

(土浦ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団)

【低学女子1位決勝トーナメント】

1位：池田 美詩・中川 結愛

(美浦ジュニアソフトテニススポーツ少年団・下妻クラブ Jr.
スポーツ少年団)

2位：伊坂 咲良・中島 美湖

(龍ヶ崎ドラゴンソフトテニススポーツ少年団)

3位：齊藤 紫乃・宮本 優風

(下妻クラブ Jr. スポーツ少年団・美浦ジュニアソフトテニ
ススポーツ少年団)

3位：柳町 桃花・櫻井 いろは

(美浦ジュニアソフトテニススポーツ少年団)

バッジ・カップ・トロフィー・楯・旗・ネームプレート・ギフト品・各種記念品



株式会社

秋 場 徹 章

〒110-0003 台東区根岸4-2-4 2F

TEL03(3873)1955 FAX03(3873)1599

【低学女子2位トーナメント】

- 1位：樫村 陽向・富田 和葉
(常陸太田ジュニアソフトテニススポーツ少年団)
2位：島崎 咲穂・宮内 彩希(潮来ソフトテニススポーツ少年団)
3位：小田部 志保・生井 有紗(下妻クラブJr. スポーツ少年団)
3位：中島 愛湖・井上 朝日姫
(龍ヶ崎ドラゴンソフトテニススポーツ少年団)

【低学女子3位トーナメント】

- 1位：相川 志保・相川 優香
(土浦ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団)
2位：小林 蒼依・石井 麗
(美浦ジュニアソフトテニススポーツ少年団・豊浦ソフトテニススポーツ少年団)
3位：森田 桜樺・鈴木 杏奈(みらいジュニアスポーツ少年団)
3位：大川 寧月・高橋 璃子
(旭ジュニアソフトテニススポーツ少年団)

●令和7年度 全日本ソフトテニス選手権大会茨城県予選大会

9月7日 神栖海浜公園テニスコート

【男子】

- 1位：深野 尚矢・田中 祐太郎(プロテリアル)
2位：浜田 直哉・藤塚 琉来(水戸白友会・T-bonds)
3位：木吉 柁貴・櫻井 宏道
(茨城県教職員ソフトテニスクラブ・土浦ソフトテニスクラブ)
3位：永堀 将太郎・土屋 勇輝(筑西クラブ)

【女子】

- 1位：菅原 野々華・片岡 結愛(霞ヶ浦高)
2位：貝塚 ひなた・田向 ひなの(鹿島学園高)
3位：大岡 果凛・佐藤 もえ(常磐大高)
3位：櫻井 可南子・泉屋 初希(夢ひたクラブ)

●令和7年度 第19回 スポーツ少年団関東小学生ソフトテニス交流大会

9月15日 神栖市海浜運動公園テニスコート

【高学年男子決勝トーナメント】

- 1位：不破 奏大・郷 善太(埼玉. 北坂戸・坂戸Jr)
2位：根本 悠誠・橋本 樹(埼玉. 坂戸Jr)
3位：吉田 怜生・小澤 司真(埼玉. 杉戸Jr)
3位：宇田 結斗・都竹 朝陽(埼玉. 芝SC・わかくさ)

【高学年男子2位トーナメント】

- 1位：細村 洸毅・坪木 寛哉(埼玉. さくらだ)
2位：船串 健・小柴 悠輝(茨城. 美浦Jr・常陸太田)
3位：清水 煌人・高橋 達希(千葉. 南房総)
3位：望月 翔太・戸澤 蒼翔(山梨. 双葉)

【高学年男子3位トーナメント】

- 1位：米沢 昊瓦・山口 市桜(埼玉. 坂戸Jr)
2位：上山 祐代・野崎 陽真(栃木. 黒磯Jr)
3位：高野 晴志郎・藤原 優貴(茨城. 大洋)
3位：芦澤 虎太郎・庄司 陸登(山梨. 甲府ストロング・都留Jr)

【高学年女子決勝トーナメント】

- 1位：木村 愛望・黒川 紅稀彩(栃木. 今市)
2位：大森 月華・天野 和奏(山梨. 富士吉田)
3位：高林 さつき・前原 実千(埼玉. 皆野Jr)
3位：藤木 七海・東 玖来(埼玉. 鴻巣パンジー)

【高学年女子2位トーナメント】

- 1位：金尾 朱里・宮崎 あかり(千葉. いすみ)
2位：大貫 瑠花・笹森 衣吹(栃木. BCファイターズ)
3位：佐川 茜・神長 心愛(茨城. 大子)
3位：白川 菜穂・西田 菜緒(茨城. 古河STC)

【高学年女子3位トーナメント】

- 1位：楠 凜菜・小堀 望愛(茨城. 麻生/茨城)
2位：芹澤 結芽・宮内 彩希(茨城. 牛久Jr)
3位：武笠 百那・柴 愛莉(茨城. 下妻砂沼)
3位：高桑 滯央・榊 凜星(茨城. 豊浦)

【低学年男子決勝トーナメント】

- 1位：宇都木 晟李・中島 悠輝(茨城. 古河北利根)
2位：田野 智樹・細村 一稀(埼玉. 皆野Jr)
3位：藤原 春飛・原田 倅輔(埼玉. わかくさ)
3位：金森 葵・鈴木 鈴文(茨城. 神栖Jr)

【低学年男子2位トーナメント】

- 1位：小林 玲緒・小野寺 智哉(茨城. 古河北利根)
2位：石渡 俊亮・佐藤 碧都(茨城. 下妻砂沼)
3位：田村 大空・岡野 稜(茨城. みどりのSTC・常陸太田)
3位：山田 真之介・大峰 結翔(茨城. 神栖Jr・土浦Jr)

【低学年男子3位トーナメント】

- 1位：小林 侑真・松原 進(茨城. 龍ヶ崎・みどりのSTC)
2位：奥村 湊思・新垣 仁翔(茨城. みらいJr)
3位：立石 憬・菅谷 蓮斗(茨城. 霞ヶ浦STC)
3位：藤原 孝之・小沼 良輔(茨城. 大洋)

【低学年女子決勝トーナメント】

- 1位：河本 しずく・木村 望夢(栃木. 今市)
2位：柳 真鈴・大久保 初香(埼玉. 小川Jr)
3位：長田 彩愛・井上 成菜(山梨. 富士川スポ少)
3位：池田 美詩・中川 結愛(茨城. 美浦Jr・下妻クラブJr)

【低学年女子2位トーナメント】

- 1位：柳町 桃花・櫻井 いろは(茨城. 美浦Jr)
2位：齊藤 紫乃・宮本 優凪(茨城. 下妻クラブJr・美浦Jr)
3位：茂木 燈・宮寺 瑠奏(埼玉. Nexus・飯能)
3位：吉岡 里依夏・増田 真尋(千葉. ふれあい)

【低学年女子3位トーナメント】

- 1位：樫村 陽向・富田 和葉(茨城. 常陸太田)
2位：島崎 咲穂・宮内 彩希(茨城. 潮来Jr)
3位：覺張 美羽・長沼 みなみ(茨城. 牛久Jr)
3位：相川 志保・相川 優香(茨城. 土浦Jr)



愛媛県

●令和7年度 ミズノケンコーカップ四国小学生学年別ソフトテニス大会 愛媛県予選

8月30日 今治スポーツパークテニスコート

【3年生以下男女混合】24ペア

▽準決勝

楠・山田 ③-0 鎌田・高品
(新居浜) (篠山・北伊予)

山本・大澤 ③－0 吉村・大西
(SOC) (東予)

▽決勝

楠・山田 ③－0 山本・大澤

【4年生男子】9ペア

1位：山本・野間 (SOC)

2位：稗・木村 (波方)

【5年生男子】17ペア

▽準決勝

松本・溝畑 ③－1 川上・黒光
(北伊予) (西条)

栗原・溝畑 ③－1 永井・河野
(北伊予) (波方)

▽決勝

松本・溝畑 ③－0 栗原・久原

【6年生男子】16ペア

▽準決勝

伊藤・楠 ③－0 村上・田中
(新居浜) (aq)

松本・佐伯 ③－1 橋本・徳永
(東予) (東予)

▽決勝

伊藤・楠 ③－2 松本・佐伯

【4年生女子】8ペア

▽決勝

黒川・森 ③－0 森口・浜田
(SOC) (篠山)

【5年生女子】9ペア

1位：藤田・玉井 (松山)

2位：加納・曾我部 (吹揚)

【6年生女子】23ペア

▽準決勝

井出・山本 ③－0 岡田・余吾
(吹揚・SOC) (東予)

山口・重松 ③－1 徳原・岡崎
(北伊予・松山) (篠山)

▽決勝

井出・山本 ③－2 山口・重松

●令和7年度 愛媛県小学生ソフトテニス夏季選手権
兼第19回 西日本小学生ソフトテニス選手権大会愛媛県予選
8月31日 今治スポーツパークテニスコート

【男子】40ペア

▽準決勝

山本・野間 ③－0 松本・溝畑
(SOC) (北伊予)

松本・佐伯 ③－0 田中・村上
(東予) (風早・吹揚)

▽決勝

山本・野間 ③－1 松本・佐伯

【女子】44ペア

▽準決勝

井出・山本 ③－1 岡田・余吾
(吹揚・SOC) (東予)

徳原・岡崎 ③－2 山口・重松
(篠山) (北伊予・松山)

▽決勝

井出・山本 ③－1 徳原・岡崎

●令和7年度 愛媛県小学生5年生以下大会
10月11日 今治スポーツパークテニスコート

【男子】30ペア

▽1・2位決定戦

山本・野間 ③－1 栗原・久原
(SOC) (北伊予)

▽3・4位決定戦

松本・溝畑 ③－2 楠・山田
(北伊予) (新居浜)

【女子】27ペア

▽1・2位決定戦

岡崎・余吾 ③－0 加納・曾我部
(篠山・東予) (吹揚)

▽3・4位決定戦

黒川・森 ③－2 藤田・玉井
(SOC) (松山)

●令和7年度 愛媛県県下団体対抗戦大会
10月12日 今治スポーツパークテニスコート

【一般男子A】6チーム

▽決勝

愛媛にぎたつクラブA ②－1 スマッシュセツヤスクラブA

【一般男子B】16チーム

▽準決勝

今治STA ②－1 三津浜 tennisFreaks

堀之内クラブ ②－1 愛媛にぎたつクラブC

▽決勝

今治STA ②－1 堀之内クラブ

【シニア男子50】4チーム

1位：愛媛にぎたつシニア

【小学生】26チーム

▽準決勝

東予ジュニアA ②－1 松山ジュニアA

東予ジュニアB ②－0 今治S・O・CジュニアB

▽決勝

東予ジュニアA ②－1 東予ジュニアB

●令和7年度 愛媛県秋季ソフトテニス選手権大会
10月26日 松山中央公園テニスコート

【一般男子】51ペア

▽準決勝

辻 和樹・碓田 冬吹樹 ④－3 飯尾 太智・亀井 尋斗
(松山大学) (新居浜市STA)

橋本 哉太・竹之内 陵平 ④－1 児玉 大海・三宅 蓮
(松山大学) (四国ガス産業クラブ・新居浜市役所)

▽決勝

辻 和樹・碓田 冬吹樹 ④－2 橋本 哉太・竹之内 陵平

【35男子】6ペア

▽決勝

立田 康明・山口 悠介 ④-1 日野 洋・楠 英寿
(愛媛にぎたつクラブ・TEIJIN) (住友化学愛媛・新居浜市STA)

【45男子】7ペア

▽決勝

松田 友和・松本 洋 ④-1 天野 茂雄・平 辰彦
(愛媛にぎたつクラブ) (くすもとクラブ・愛媛にぎたつクラブ)

【シニア男子50】3ペア

1位:眞鍋 一志・玉井 寛(フジカンパニーズ・松山ライン会)

【シニア男子55】10ペア

▽準決勝

田中 功一・浅海 康弘 ④-0 村上 浩・松室 一生
(広見STC・松前STC) (松前STC・愛媛にぎたつクラブ)

▽決勝

羽藤 敏弘・徳永 康夫 ④-3 田中 功一・浅海 康弘
(宇和島STA・松山ライン会)

【シニア男子65】6ペア

▽決勝

毛利 久志・越智 克昌 ④-3 芝田 眞次・鈴木 尚志
(鬼北STC・今治STA) (愛媛にぎたつクラブ・宇和島STA)

【シニア男子70】7ペア

▽決勝

善家 清隆・竹内 敏夫 ④-1 三浦 敬一・大塚 英一
(広見STC・宇和島STA) (広見STC・松前STC)

【一般女子】18ペア

▽準決勝

池内 麻乃・乗松 せら ④-0 西村 美香・小倉 千裕
(松山大学) (愛媛にぎたつクラブ・松山ライン会)

河野 桐・安部 蒼空 ④-2 松村 菜実・宮田 瑠依
(松山大学) (道後八千代クラブ)

▽決勝

池内 麻乃・乗松 せら ④-2 河野 桐・安部 蒼空

【45女子】4ペア

1位:稲田 次美・奥嶋 涼子

(松山ウイニングクラブ・愛媛にぎたつクラブ)

【シニア女子60】4ペア

1位:伊東 直子・岡田 佳枝(松山STC・愛媛にぎたつクラブ)

【シニア女子65】3ペア

1位:坂見 美和子・和泉 泰子

(愛媛アカエムクラブ・若草クラブ)

【シニア女子70】3ペア

1位:越智 栄美子・井関 恵子(西条市STA・広見STC)

▽決勝

藤村 拓弥・東 侑希 ④-2 赤松 成・榎 竜太郎

【一般女子】16ペア

▽準決勝

明神 未来・竹谷 渚 ④-0 中山 稟彩・田淵 アサヒ
(TNT. C) (S×CREW)

大北 いつき・石川 桜楽 ④-3 野並 みち子・坂吉 美穂
(TNT. C) (朝倉STクラブ・TNT. C)

▽決勝

明神 未来・竹谷 渚 ④-0 大北 いつき・石川 桜楽

【45男子】5ペア

1位:小島 将一・井垣 真也

(小津クラブ・波多クラブ)

2位:田中 丞治・濱崎 正史

(波多クラブ・横波クラブ)

【シニア男子60】3ペア

1位:太田 和久・山本 泉

(四万十黒尊クラブ)

【シニア男子65】4ペア

1位:西尾 洋一・井上 一志

(ファミリークラブ江陽)

【シニア男子70】3ペア

1位:小松 正俊・瀧石 洋生

(向陽クラブ)

【シニア女子50】5ペア

1位:山下 由香・松田 理香

(土佐レディース・チームIGA)

2位:宮本 真紀・尾崎 美智子

(小津クラブ)

【シニア女子60】3ペア

1位:浅野 しのぶ・鍋島 満子

(朝倉STクラブ・菜花クラブ)

●第22回 ミズノ・ケンコーカップ四国小学生学年別ソフトテニス大会高知県選考会

8月30日 土佐西南大規模公園テニスコート

【6年生男子の部】6ペア

1位:田野 聖直・田野 成都(大用Jr)

2位:益永 陽斗・沖 希偉稚(東中筋Jr)

【5年生男子の部】1ペア

1位:谷脇 日々登・三宮 涼平(横内Jr)

【4年生男子の部】4ペア

1位:平岡 湊大・平岡 蓮大(大用Jr)

【6年生女子の部】3ペア

1位:野並 唯央・三浦 小夏(朝倉ソフトテニスポ少・大用Jr)

【5年生女子の部】9ペア

1位:西尾 衣織・弘瀬 千奈弥(東中筋Jr)

2位:恒石 颯香・川村 歩佑帆(香南Jr)

【4年生女子の部】2ペア

1位:安芸 紗恋・恒石 真輝(香南Jr)

【3年生以下男女の部】6ペア

1位:奥田 桜琉・中山 湊晨(東中筋Jr)

2位:古谷 匠絆・立石 悠馬(須崎Jr)

高知県

●高知新聞社・RKC高知放送杯 高知県ソフトテニスオープン大会

8月24日 INOUE・東部スポーツパークテニスコート

【一般男子】55ペア

▽準決勝

藤村 拓弥・東 侑希 ④-2 中井 啓翔・成岡 智大
(波多クラブ) (南OB)

赤松 成・榎 竜太郎 ④-2 比嘉 啓勝・河端 希
(高知工科大学) (高知工科大学)

●濱川杯高知県小学生ソフトテニス選手権大会

9月7日 土佐西南大規模公園テニスコート

【男子1部】9ペア

▽決勝

益永 陽斗・沖 稀偉稚 ④-0 田野 聖直・田野 成都
(東中筋Jr) (大用Jr)

【男子2部】6ペア

▽決勝

奥田 桜琉・藤原 康起 ③-0 今橋 悠利・立石 悠馬
(東中筋Jr・江陽Jr) (須崎Jr)

【女子1部】11ペア

▽準決勝

安芸 紗恋・恒石 真輝 ④-1 野並 唯央・三浦 小夏
(香南Jr) (朝倉スポ少・大用Jr)
西尾 衣織・弘瀬 千奈弥 ④-2 井上 涼華・田淵 ひまり
(東中筋Jr) (東中筋Jr)

▽決勝

安芸 紗恋・恒石 真輝 ④-2 西尾 衣織・弘瀬 千奈弥

【女子2部】4ペア

1位：森本 琉愛・遠山 望愛(朝倉スポ少・大用Jr)

●第44回 濱川杯 高知県ソフトテニス選手権大会

9月14日 高知市東部総合運動場テニスコート

【一般男子】51ペア

▽準決勝

藤村 拓弥・田村 和弥 ④-2 毛利 航太・榎 竜太郎
(波多クラブ) (高知工科大学)
山中 温人・野中 峻太郎 ④-2 加納 飛羽・伊賀 悠心
(土佐中学校・土佐高校) (宿毛工業高校・中村高校)

▽決勝

藤村 拓弥・田村 和弥 ④-0 山中 温人・野中 峻太郎

【一般女子】30ペア

▽準決勝

佐藤 由希菜・川崎 月愛 ④-1 小野 美怜・弘瀬 葵
(明德義塾高校・土佐女子中学校) (S×CREW)
明神 未来・竹谷 渚 ④-2 西岡 采未・石川 桜楽
(TNT. C) (TNT. C)

▽決勝

佐藤 由希菜・川崎 月愛 ④-3 明神 未来・竹谷 渚

【45男子】6ペア

▽決勝

吉永 佳永・岡崎 智正 ④-1 瀬尾 敏博・走川 稜
(さえんば吾平クラブ) (波多クラブ)

【シニア男子55】3ペア

1位：太田 和久・山本 泉
(四万十黒尊クラブ)

【シニア男子65】4ペア

1位：竹内 友克・高瀬 秋夫
(ファミリークラブ江陽)

【シニア男子70】3ペア

1位：岡村 孝彦・安岡 憲良
(あけぼのクラブ・追手前クラブ)

【シニア女子50】4ペア

1位：竹田 充・枝常 聡子

(中村ソフトテニスクラブ・土佐レディース)

【シニア女子60】3ペア

1位：筒井 千誉・生田 みどり
(追手前クラブ)

●アカエム杯 高知県ソフトテニス大会

10月12日 INOUE・東部スポーツパークテニスコート

【一般男子】32ペア

▽準決勝

藤村 拓弥・田村 和弥 ④-1 森 拓海・姫野 紘希
(波多クラブ) (TNT. C・城北中学校)
西岡 拓真・逸見 隼久 ④-0 山崎 翔太・宮本 海聖
(小津クラブ) (南OB)

▽決勝

藤村 拓弥・田村 和弥 ④-2 西岡 拓真・逸見 隼久

【一般女子】17ペア

▽準決勝

明神 未来・西岡 采未 ④-0 大北 いつき・石川 桜楽
(TNT. C) (TNT. C)
野津 乙笑・竹谷 渚 ④-0 佐藤 由希菜・川崎 月愛
(高知大学・TNT. C) (明德義塾高校・土佐女子中学校)

▽決勝

明神 未来・西岡 采未 ④-0 野津 乙笑・竹谷 渚

【45男子】5ペア

1位：井垣 真也・山中 辰哉
(波多クラブ)
2位：中村 真宏・生田 悟士
(小津クラブ・高知教員クラブ)

【シニア男子50】4ペア

1位：丁野 和也・細谷 宏明
(追手前クラブ・あけぼのクラブ)

【シニア男子65】5ペア

1位：西尾 洋一・井上 一志
(ファミリークラブ江陽)
2位：竹内 友克・高瀬 秋夫
(ファミリークラブ江陽)

【シニア男子70】3ペア

1位：塩田 住夫・田辺 保
(土佐山田テニスクラブ・大正クラブ)

【シニア女子50】3ペア

1位：宮本 真紀・尾崎 美智子
(小津クラブ)

【シニア女子60】4ペア

1位：筒井 千誉・生田 みどり
(追手前クラブ)

【男子2部】8ペア

▽決勝

西森 達希・藤戸 尊 ④-2 竹本 和史・武内 龍太
(NEXUS高知) (S×CREW)

【女子2部】3ペア

1位：奥崎 花乃・ハジィフ 美瑠
(S×CREW)

すべての スポーツに エールを

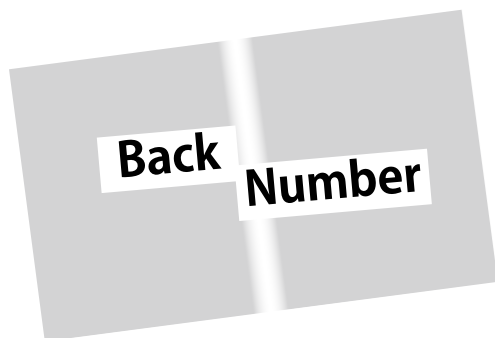
スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ





2024年11月号

【表紙写真】

昨年9月下旬に佐賀・唐津市で開催された「第78回 国民スポーツ大会」。写真は成年男子で優勝を飾った奈良を中心に、成年女子を制した兵庫県、少年男子で優勝を遂げた奈良県、少年女子の頂点に立った広島県
(写真提供：佐賀県ソフトテニス連盟)

【本誌内容】

第17回 世界ソフトテニス選手権大会 男女監督総評／JOCジュニアオリンピックカップ 第31回 全日本ジュニアソフトテニス選手権大会／令和6年度 第28回 全日本シニアソフトテニス選手権大会／第3回 全日本アンダー20男子チーム強化合宿 報告／第78回 国民スポーツ大会／日本スポーツマスターズ2024 長崎大会／第4回 全日本レディースソフトテニス決勝大会シニアの部／令和5年度 支部功労者優良団体紹介 山形県、栃木県、大分県／学連ニュース／支部ニュース／新連載／運営本部会議 報告／連盟100周年シンボルマーク募集／理事会・専門委員会報告／次号予告／2024年度(令和6年度)大会日程及び開催地一覧



Soft Tennis

12月号

次号予告

HPは
www.jsta.or.jp

メールアドレスは
info@jsta.or.jp

第80回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会
第3回 STリーグⅡ
第32回 全日本クラブ選手権大会
第20回 ジュニアジャパンカップ
(競技者育成プログラムStep4)

広告募集中!

毎月30~80万の
アクセスがある
ホームページです

日本ソフトテニス連盟ホームページ内
機関誌「ソフトテニス」に
広告を掲載してみませんか?

お問合せはこちらまで: kikanshi@jsta.or.jp

次号は、ソフトテニス界最高峰の大会である「全日本選手権大会」の詳細結果をはじめ、「STリーグⅡ」、「全日本クラブ選手権大会」、「ジュニアジャパンカップ」を掲載。他にも、ソフトテニスファンの興味ある話題を取り上げます。お楽しみに!

2025年11月10日発行

ソフトテニス 第858号(2025年11月号)

発行人 安道 光二

発行所 (公財) 日本ソフトテニス連盟

〒140-0014 東京都品川区大井1-16-2-201

電話 03-6417-1654 FAX 03-6417-1664

編集 澄田公哉事務所

デザイン 明宏デザイン



2025年度(令和7年度) 大会日程及び開催地一覧

2025.10.31 現在

	大会名	日程			開催地
主催大会	第 9 回 アジア選手権大会日本代表予選会	2025 年 4 月 26 日	土	～ 2025 年 4 月 27 日	日 宮城県 仙台市
	第32回 全日本シングルス選手権	2025 年 5 月 17 日	土	～ 2025 年 5 月 18 日	日 宮崎県 宮崎市
	第 6 回 全日本ミックスダブルス選手権大会	2025 年 6 月 14 日	土	～ 2025 年 6 月 15 日	日 広島県 広島市、安芸郡 福山市
	男子70回 女子69回 全日本実業団選手権大会	2025 年 7 月 25 日	金	～ 2025 年 7 月 27 日	日 青森県 青森市
	第42回 全日本小学生選手権大会	2025 年 7 月 31 日	木	～ 2025 年 8 月 3 日	日 茨城県 神栖市
	第53回 全日本社会人選手権大会	2025 年 8 月 30 日	土	～ 2025 年 8 月 31 日	日 北海道 苫小牧市、室蘭市 札幌市
	全日本中学生クラブ選手権ブレ大会	2025 年 9 月 13 日	土	～ 2025 年 9 月 15 日	月 千葉県 白子町
	第29回 全日本シニア選手権大会	2025 年 9 月 20 日	土	～ 2025 年 9 月 21 日	日 兵庫県 神戸市 京都府 福知山市、舞鶴市
	第32回 ジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニア選手権大会	2025 年 10 月 18 日	土	～ 2025 年 10 月 19 日	日 広島県 広島市
	第 3 回 STリーグ II	2025 年 10 月 24 日	金	～ 2025 年 10 月 26 日	日 京都府 福知山市
	第32回 全日本クラブ選手権大会	2025 年 10 月 25 日	土	～ 2025 年 10 月 26 日	日 千葉県 白子町
	第80回 天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会	2025 年 11 月 6 日	木	～ 2025 年 11 月 8 日	土 東京都 江東区
	第 3 回 STリーグ	2025 年 12 月 11 日	木	～ 2025 年 12 月 14 日	日 栃木県 宇都宮市
	STリーグ プレーオフ	2025 年 12 月 19 日	金	～ 2025 年 12 月 21 日	日 広島県 福山市
	第71回 全日本インドア選手権大会	2026 年 2 月 8 日			日 大阪府 大阪市
共催大会	第54回 ハイスクールジャパンカップ	2025 年 6 月 18 日	水	～ 2025 年 6 月 22 日	日 北海道 札幌市
	西日本シニア選手権大会	2025 年 7 月 5 日	土	～ 2025 年 7 月 6 日	日 和歌山県 和歌山市、白浜町
	第79回 西日本選手権大会	2025 年 7 月 12 日	土	～ 2025 年 7 月 13 日	日 奈良県 明日香村 京都府 宇治市
	第80回 東日本選手権大会	2025 年 7 月 19 日	土	～ 2025 年 7 月 20 日	日 富山県
	全日本高校選手権大会(男子)	2025 年 7 月 24 日	木	～ 2025 年 7 月 27 日	日
	全日本高校選手権大会(女子)	2025 年 7 月 28 日	月	～ 2025 年 7 月 31 日	木
	山口県 宇部市				
	第52回 全日本レディース大会(個人戦)	2025 年 7 月 26 日	土	～ 2025 年 7 月 27 日	日 三重県 四日市市 鈴鹿市 他
	第56回 全国中学校大会	2025 年 8 月 19 日	火	～ 2025 年 8 月 21 日	木 熊本県 熊本市
	第47回 全日本レディース決勝大会(団体戦)	2025 年 8 月 30 日	土	～ 2025 年 8 月 31 日	日 福島県 会津若松市
	2025 全日本学生選手権大会	2025 年 8 月 29 日	金	～ 2025 年 9 月 3 日	水 千葉県 千葉市
	第79回 国民スポーツ大会	2025 年 10 月 3 日	金	～ 2025 年 10 月 6 日	月 滋賀県 長浜市
	日本スポーツマスターズ 2025	2025 年 9 月 20 日	土	～ 2025 年 9 月 21 日	日 愛媛県 今治市
	第 5 回 全日本レディース決勝大会(シニアの部)	2025 年 10 月 16 日	木	～ 2025 年 10 月 17 日	金 大阪府 大阪市
	第20回 ジュニアジャパンカップ (競技者育成プログラムStep4)	2025 年 11 月 21 日	金	～ 2025 年 11 月 24 日	月 宮崎県 宮崎市
	第 6 回 平和カップひろしま国際大会	2026 年 3 月 14 日	土	～ 2026 年 3 月 15 日	日 広島県 広島市
	第37回 都道府県対抗全日本中学生大会	2026 年 3 月 26 日	木	～ 2026 年 3 月 28 日	土 三重県 伊勢市
	第51回 全日本高校選抜大会	2026 年 3 月 28 日	土	～ 2026 年 3 月 30 日	月 愛知県 名古屋市
拠点	第25回 全国小学生大会	2026 年 3 月 29 日	日	～ 2026 年 3 月 31 日	火 千葉県 白子町
その他	第37回 ねんりんピック2025	2025 年 10 月 18 日	土	～ 2025 年 10 月 20 日	月 岐阜県 瑞穂市 大垣市
	第33回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	2025 年 8 月 23 日	土	～ 2025 年 8 月 29 日	金 中国 内モンゴル自治区
	第 9 回 アジア選手権大会	2025 年 9 月 13 日	土	～ 2025 年 9 月 23 日	火 韓国 聞慶市

 ヌツトニニツク

ソフトテニス創始120周年および連盟創立80周年となった2004年、「ソフトテニスの歌」が発表され、CD化も実現しました。タイトルは「Winning Shot～ウィニングショット～」。全国各地の大会会場で聴きたい、爽やかで希望に満ちた歌です。

作詞・作曲者／ Twune 編曲／ audio-Librar

青い空に向けて 白いボールがはずんでる 光の中で
いつもどんな時も テニスコートに立つかぎり 胸が踊るよ

きのうのどことなくやささも 今日戦う勇気に変えよう……！

Ah 勝利をつかむまで
あきらめたくない For My Dream !
さあ！ 風を切って走れ
打ち返すんだ ウィニングショット！

うまいかなくても 前を向いた心なら 悔まないのさ
きっと強くなって 振り抜くラケットに 熱い願いを込めろ

光る汗を流し続けて 明日の夢の扉開け……！

Ah いつも心に太陽
ゆずりたくはない For My Heart !
さあ！ 信じるまま進め
希望に満ちた ウィニングショット！

Ah 翼をひろげよう
世界に羽ばたけ Soft Tennis !
Ah 今ここにある夢
未来を行け！ ウィニングショット！

著作／(財)日本ソフトテニス連盟 製作／しゅくみねっと株式会社



Vocals **Winning Shot**

～ウイニング ショット～

作詞・作曲/Twune
編曲/audio-Library

Intro

作曲・作詞 / Twine
編曲 / audio-library

1. あおい そらに むけて ても しろ ぽー ルが た は こ ず ん で ら
2. うまく い か なく て も まえ い を む ルが た は こ ず ん で ら

ひく か り ま の な い の で き

い つ も と ん な く き ヲ テ ニ ス コー ト に た つ か ぎ り
き つ と つ よ く な ヲ て ふ り め く ラ ケ ヲ ト に あ つ り

む ね が い お ど る よ り
ね が い を こ め る き

二 の う の ど ん な く な が や し げ も て

きょう た た か う ゆ う き に か え よ う... !
あす の ゆ め の と び に ら ひ ら... !

Ah し ょ う り を こ か る む ま い で
Ah い つ も こ ころ に たい よう

あ き ら め た く な い For My Drem!
ゆ ず り た く は な い For My Heart!

さあ! か し ん を き る つ て は し れ
さあ! せん じ る ま ま す る め

う ち か え す ん だ ウィ ニング ショット!
き ば う み た ウィ ニング ショット!

せ か い に は ば た け Soft Ten nis!

い ま こ こ に あ る ゆ め

み ら い を ゆ げ! ウィ ニング ショット!

Ending

10

環境を守る スポーツを守る 未来を守る

TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに！



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee